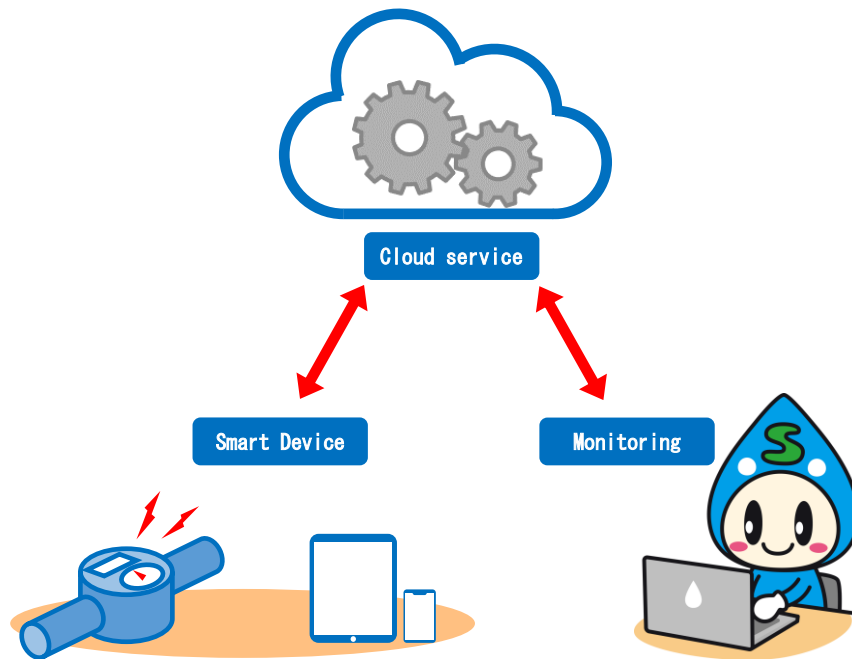


# 上下水道事業 単年度実施計画 (令和3年度版)



令和3年10月改定  
堺市上下水道局

# コロナ禍を契機に、さらなるイノベーションを！

## はじめに

上下水道局は、市民生活や経済活動を支えるライフラインである水道・下水道事業を担っており、私たちは、将来にわたる「安全安心なライフラインの確保」と「将来に向けた快適な暮らしの確保」の推進を使命としています。

令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症は、全世界で仕事や生活のスタイルを一変させました。上下水道局においても、いつ、いかなる状況でも上下水道サービスを持続的に提供できる強靱な組織にするため、「新型コロナウイルスと共存する上下水道局の経営戦略（コロナ戦略）」のもと、働く環境の改革などに果敢に取り組んできました。

今後も、この大きな社会の変革に対し、“止めることのできない上下水道”を担っていることを認識し、イノベティブな改革を推進してまいります。

## 業務の生産性とサービスの向上

業務の生産性とサービスの向上を両立しつつ、新型コロナウイルスの感染拡大や複合災害の発生など、いついかなる状況でも水道・下水道事業を継続するため、働く環境の改革として、「ルールの見直し」と「ICT ツールの見直し」を進めます。

令和3年度は、サテライトオフィスの整備を進めるほか、仕事の進め方の標準化やスケジュールの見える化により、自宅や外出先など場所にとらわれない働き方を実現します。

また、受付窓口（申込・申請、他工事通知の受付、窓口の予約など）のオンライン化や、上下水道局本庁舎1階への集約により、利用者や事業者の利便性の向上や接触機会の縮減、業務の生産性の向上を推進します。

## 災害対策の推進

近年、気候変動に伴い、これまでに経験したことのない台風や局地的な豪雨が頻発しています。また、南海トラフ地震が30年以内に70%から80%の確率で発生すると言われてしています。

令和3年度も引き続き浸水対策を進めるほか、地震対策や施設の老朽化対策により、上下水道を強靱化します。また、市民に対して、ハザードマップの確認や飲料水の備蓄などを啓発し、自助、共助による減災の取組を推進します。

## 新たなビジョンの策定

令和5年度から「新たなビジョン」と「新たな運営形態」のもと事業運営を行うため、具体的な検討を進めます。

そのなかで、令和3年度は、超長期のアセットマネジメント計画を踏まえた改築更新や災害対策のあり方について、有識者から意見を聴取し、検討を進めます。

また、府域一水道や広域連携、公民連携など、新たな運営形態について検討を進め、令和5年度に向けて準備を進めます。

## さいごに

堺市では令和3年度に、2030年を目標年度とする新たな「堺市基本計画2025」と「堺市SDGs未来都市計画」がスタートします。また、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に社会の変革が進んでおり、これまでの“常識”や“慣例”を打破する機会が到来しています。

上下水道局ではこの機を捉え、ICTの活用や各種制度の見直しなど、さらなる生産性の向上（業務の効率化）に向けた改革に取り組めます。

令和3年度も、『続けることで、続く！』の基本理念のもと、Team上下水道で、さらなるイノベーションにチャレンジしてまいります。



堺市上下水道事業管理者 出未 明彦

## 上下水道局の使命

将来にわたり持続可能な水道・下水道サービスを提供するため、『安全安心なライフラインの確保』と『将来に向けた快適な暮らしの確保』を推進する。

## 上下水道局の基本理念

『 **続けることで、続く！** 』

私たちは市民の暮らしをまもり続けるために、未来に向けた行動を続ける。

事業運営の基本理念

▷水道：安全安心な水を将来にわたってお届けし、お客さまに信頼され、愛される堺の水道。

▷下水道：水の循環をととして、暮らしを守り、環境の保全と地域の発展に貢献する。

## 行動規範

### Team 上下水道

上下水道局の使命のもと、水道と下水道が協力し、一つの組織であることの強みを活かす。

し・ん・ら・い・Ki・Zu・Ku

しみんなのため みんなの力で みらいに誇れる さかいの上下水道を Ki・Zu・Ku

## 経営方針（2019～2022）

堺市の上下水道は本格的な維持管理の時代を迎えた。上下水道事業を将来にわたり持続するため、4年間（令和元年度～令和4年度）で経営基盤を確立する。

## 経営基盤の確立に向けた戦略

- 先見** 中長期的な視点に立った改築更新や維持管理・運営を行うため、超長期の改築更新計画（アセットマネジメント計画）を策定する。
- 改革** 公営企業としての経済性を発揮するため、既存の仕組みを見直す。
- 向上** 業務の効率性と利用者へのサービスを向上させるため、ICTなどの新技術を導入する。
- 連携** 課題を解決し、運営基盤を強化するため、大都市や周辺市、民間事業者との連携を進める。
- 適正** 水需要が減少するなか、将来を見据えた料金体系のあり方を検討する。

“将来にわたり持続可能”な上下水道を次世代へ「**バトンタッチ!**」

## 堺市上下水道局 基本理念



### 『 続けることで、続く！ 』

私たちは市民の暮らしをまもり続けるために  
未来に向けた行動を続ける

この度、私たちは持続可能な上下水道を次世代に受け継ぐため、  
上下水道局の基本理念を『続けることで、続く！』に決めました。

高度成長期以降、堺市では人口が増え続けてきました。  
それにあわせ、私たちは近代の上下水道を「つくり」続けてきました。

今、堺市は人口減少社会の到来という時代の転換期を迎えています。

一方、「市民の暮らしをまもる」という上下水道の役割は、今後も変わりません。  
将来にわたって上下水道を「まもり」続ける必要があります。

「まもり」続けることは、現行の施設を基盤に、新たな事業環境に適応した  
「次世代上下水道」を生み出す、創造性と挑戦に満ちたやりがいのある仕事です。

決して、単に事業・施設の維持作業を続けることではありません。

このようななか、私たちは何を続けるべきでしょうか。

私は「自ら将来の環境を予測し、考え方と意識を変える」ことが  
必要だと考えています。

この転換期を「次世代上下水道」をつくるチャンスと捉え、ぜひ皆さんも、  
何を続けるべきか、一人ひとりが考え、行動を続けてください。

私たちが上下水道を築き上げた先人たちに感謝しているように、  
その行動は、未来の世代から感謝されるに違いありません。

仁徳天皇陵古墳が1600年を経て、先人から受け継がれてきたように、  
上下水道を未来に受け継いでいきたいと思います。

市民の暮らしをまもり続けるため、  
『続けることで、続く！』を上下水道局の基本理念として、  
未来に向けた行動を続けていきたいと思います。

令和元年十月吉日

堺市上下水道事業管理者 出来 明彦

## <新たな基本理念『続けることで、続く!』の制定理由>

平成27年度に上下水道ビジョンを策定した際、水道事業の基本理念を「安全安心な水を将来にわたってお届けし、利用者に信頼され、愛される堺の水道」、下水道事業の基本理念を「水の循環をとおして、暮らしを守り、環境の保全と地域の発展に貢献する」に決めました。

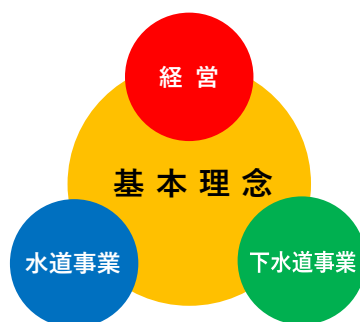
そのうえで、上下水道局の使命である『安全安心なライフラインの確保』と『将来に向けた快適な暮らしの確保』の達成に向け、これらの基本理念と行動規範「Team 上下水道」・「し・ん・ら・い・Ki・Zu・Ku」のもと、事業を推進してきました。

今、水道法の改正や府域水道事業の全体最適化に向けた動きなど、事業を取り巻く環境が目まぐるしく変化しており、その変化のスピードは、ビジョン策定時の想定を超えています。

これらの環境の変化に対応し、上下水道局の使命を全うするためには、公営企業として、これまで以上に「経営」の視点による事業運営が必要となっています。

以上のことから、今回、上下水道局では「経営」における最も根源的な考え方として、新たな基本理念『続けることで、続く!』を決めました。

今後は、「経営」と「事業」の基本理念を両輪として、上下水道局の使命を全うします。



## <私たちが“続ける”こと>

- ・事業を持続するため、経営改善を続ける。
- ・時代の変化に対応するため、自己研鑽を続ける。
- ・将来の環境の変化を予測するため、情報収集を続ける。
- ・サービスを向上するため、市民目線での対応や改善を続ける。
- ・非常時の対応を迅速に行うため、平常時から危機管理対策を続ける。
- ・水道と下水道を安定かつ安全に運営するため、技術と技能の継承を続ける。

# 目次

I. 施策体系一覧（堺市上下水道ビジョン）	1
II. 単年度実施計画	1
1. 安全安心なライフラインの確保	2
(1) 安全で安心な水道水	2
(2) 震災に強いまちの実現	7
(3) 雨に強いまちの実現	11
(4) 危機管理対策の推進	15
2. 将来に向けた快適な暮らしの確保	20
(1) 里道・私道の汚水整備（衛生的に暮らせるまちの実現）	20
(2) 川や海の水環境が良好に保たれるまちの実現	22
(3) 上下水道が安定的に機能するまちの実現（施設の維持管理と更新）	24
(4) 上下水道が安定的に機能するまちの実現（持続的な企業経営）	35
(5) 潤いと活力のあるまちの実現	43
(6) 地球温暖化対策を推進するまちの実現（環境負荷の低減）	44
3. しんらいを築く堺の上下水道への挑戦	47
(1) お客さまとのパートナーシップの形成	47
(2) 人材育成の充実・運営体制の強化	50
(3) 先進的な取組への挑戦	56
III. 働く環境の改革	59
IV. 投資財政計画	60
水道事業の投資財政計画	60
下水道事業の投資財政計画	62

## 単年度実施計画について

単年度実施計画は、堺市上下水道ビジョンの達成に向け、PDCA サイクルによるマネジメントを実施するために作成しています。堺市上下水道ビジョンを基に、当該年度に実施する取組を記載し、取組を職員に周知のうえ、局一丸となって業務を進めます。

なお、単年度実施計画では、上下水道局の使命を踏まえ、「水道ビジョン」と「下水道ビジョン」の施策体系をひとつの施策体系として再編しています。

※「下水道ビジョン」の計画期間を2年間延伸し、令和4年度末までの計画を記載しています。



### 持続可能な開発目標（SDGs）について

堺市は「SDGs 未来都市」であり、SDGs の達成に向けて取り組んでいます。SDGs の達成に貢献する上下水道局の施策に対し、該当するゴールを記載しています。また、事業に対し、該当するターゲットを記載しています（例：事業 ①水質の管理(水道) [6.1]）。

**重点**：本年度に、特に重点的に取り組む業務を示しています。

**予算額**：事業ごとに、予算額（投資）の合計を記載しています（千円以下切り捨て、人件費と間接経費を除く）。人件費と間接経費のみの場合は、予算額を記載していません。

# I. 施策体系一覧（堺市上下水道ビジョン）

基本方針（3項目）	施策（13項目）	事業（48項目）	備考
安全安心な ライフラインの確保	(1) 安全で安心な水道水	① 水質の管理	水道
		② 水安全計画の推進	
		③ 貯水槽水道の管理	
		④ 鉛製給水管の取替	
	(2) 震災に強いまちの実現	① 優先耐震化路線の構築	水道
		② 配水池の耐震化	
		③ 下水道施設の耐震化	下水道
		④ 津波対策の実施	
	(3) 雨に強いまちの実現	① 雨水整備事業の推進	下水道
		② 雨水貯留浸透の推進	
		③ 情報収集・提供の充実	
		④ 雨水施設の適切な管理の推進 <sup>※1</sup>	
	(4) 危機管理対策の推進	① 災害対応力の強化 <sup>※2</sup>	水道・下水道
		② 事故対策の強化	
		③ 応急給水対策の強化	水道
		④ 緊急連絡管の整備	
⑤ 電源の確保			
⑥ マンホールトイレの整備		下水道	
将来に向けた 快適な暮らしの確保	(1) 里道・私道の汚水整備 （衛生的に暮らせるまちの実現）	① 里道・私道の汚水整備	下水道
	(2) 川や海の水環境が良好に 保たれるまちの実現	① 処理の高度化と安定化	下水道
		② 合流式下水道の改善	
	(3) 上下水道が安定的に機能する まちの実現 （施設の維持管理と更新）	① 基幹管路（幹線管）の更新	水道
		② 配水支管の更新	
		③ 管路の維持管理	
		④ 配水池の維持管理	
		⑤ 機械・電気・計装設備の更新	下水道
		①～⑤共通：水道アセットマネジメント計画の策定	
		⑥ 下水道設備のアセットマネジメント	
		⑦ 下水道管きよのアセットマネジメント	
	(4) 上下水道が安定的に機能する まちの実現 （持続的な企業経営）	⑧ 下水道施設の統廃合	水道・下水道
		① 資産・資源の有効活用による収入の確保	
		② 水洗化の促進	
		③ 企業債の借入抑制	
		④ 受水費の削減	
⑤ 収納コストの削減			
⑥ 収納率の向上			
(5) 潤いと活力のあるまちの実現	⑦ 資本費平準化債の有効活用	下水道	
	① 再生水送水事業の継続	下水道	
(6) 地球温暖化対策を推進する まちの実現 （環境負荷の低減）	① 受水圧を利用した送水システムの整備	水道	
	② 小水力発電設備の設置		
	③ 省エネ・省CO <sub>2</sub> 機器の導入	下水道	
	④ 水再生センターの運転管理の工夫		
しんらいを築く 堺の上下水道への 挑戦	(1) お客さまとの パートナーシップの形成	① 双方向コミュニケーションの確立	水道・下水道
		② お客さまとの協働体制の拡充	
		③ お客さま対応の向上と事業の啓発	
	(2) 人材育成の充実・運営体制の 強化	① 自ら考え行動する職員の育成	水道・下水道
		② 機能的、効率的な組織体制の確保	
		③ 広域連携の推進	
	(3) 先進的な取組への挑戦	① 先進的な取組の推進	水道・下水道

※1 令和3年度から事業として、「雨水施設の適切な管理の推進」を追加した。




※2 事業の進展を受けて、「業務継続計画による減災対策の推進」と「災害等に係る訓練の実施及びマニュアルの見直し」を統合した。

## II. 単年度実施計画

### 1. 安全安心なライフラインの確保

#### (1) 安全で安心な水道水

水道水の安全確保と、おいしい水道水の供給に向け、水道水中の残留塩素濃度などの管理を強化します。また、利用者所有の給水設備に対する管理意識を高めるため、啓発活動を行います。

SDGs：ゴール			SDGs：ターゲット	
			3.3	6.1
				11.b

#### 事業 ①水質の管理（水道） [3.3 6.1]

##### ■事業目標

- ・残留塩素濃度などを適切に管理するため、全 12 配水池区域に設置した水質モニターにより、水質を 24 時間監視します。
- ・安定した水質を保持するため、給水末端での定期的な排水や水道工事に伴う洗浄排水を適切に行います。また、効率的、効果的に水質を保持するため、定期排水箇所を調査、分析し、適宜定期排水箇所を見直します。
- ・水道水の滞留を防止するため、基幹管路や配水管の更新の際は、必要に応じて管口径を縮小します。
- ・水道 GLP システム（水道水質検査優良試験所規範）のサーベイランス（中間審査）を受審のうえ、審査時の指摘事項等を参考に、水質検査の品質を維持向上させます。

##### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
71,441	0	0	0	71,441

##### ■業務計画

No. 1	配水管洗浄排水の実施	
	前期	後期
	・配水管洗浄排水の実施（年間 1,300 か所）	・配水管洗浄排水の実施（年間 1,300 か所） ・定期排水箇所の調査、分析 ・定期排水箇所の見直し
担当部署	水運用管理課	



No.2	水道 GLP システムを活用した水質検査の維持向上	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーベイランスの受審準備、申請</li> <li>・水質検査担当職員の技術教育訓練</li> <li>・水質検査にかかる記録書類の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーベイランスの受審</li> <li>・サーベイランスの結果に基づく業務改善</li> <li>・検査関連業務の検査品質に関するレビュー</li> <li>・内部監査とレビューに基づく業務の見直し、システム文書の改善</li> </ul>
担当部署	水運用管理課	

■指標計画

○水質モニター設置数（箇所）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	10/12	12/12	目標達成					
変更計画	-	-						
年度目標	10/12	12/12						
実績	7/12*	12/12						

※土地占用手続の変更により、書類作成や協議が長期に及んだことから平成 29 年 7 月の完成となり、年度目標を下回った。

○水質基準不適合率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変更計画	-	-	-	-	-	-	-	-
年度目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-
実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-

事業 ②水安全計画の推進（水道） [3.3 6.1 11.b]

■事業目標

・水道水の水質異常を引き起こす様々なリスクの発生を未然に防ぐため、PDCA サイクルにより、水安全計画を継続的に見直します。また、水道事故などの危機事象発生時には、迅速かつ的確に対応します。

■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

## 事業 ③貯水槽水道の管理（水道） [3.3 6.1]

### ■事業目標

- ・所有者の管理意識の向上（定期清掃率の向上）を目的に、小規模貯水槽設置建物の現地調査結果に基づき、啓發文書を送付します。また、現地調査の希望があった場合、小規模貯水槽の管理状況を調査します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
130	0	0	0	130

### ■業務計画

No. 3	小規模貯水槽水道の啓発・調査	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正管理案内文の郵送 （H27年度現地調査施設：約200件） （H30年度現地調査施設：約300件）</li> <li>・希望に基づく現地調査（随時）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正管理案内文の郵送 （R2年度状況把握施設：約300件）</li> <li>・希望に基づく現地調査（随時）</li> <li>・逆流防止等の啓發文書の郵送（約500件）</li> </ul>
担当部署	給排水設備課	

### ■指標計画

#### ○小規模貯水槽水道の啓発・調査件数（件/年）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	5年で5,000件							-
変更計画					3年で2,700件 <sup>※</sup>			-
年度目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,200	750	750	-
実績	1,021	952	986	861	947	-	-	-

※小規模貯水槽水道の管理意識の向上の取組については、平成30年度に実施した調査方法の検証を踏まえ、令和2年度以降は、啓発にとどめ、希望があった場合のみ、現地調査を実施することにした（これに伴い、指標名称を「小規模貯水槽水道の啓発・調査件数」に変更）。また、対象施設の減少に伴い、啓発活動を5年サイクルから3年サイクルに短縮した。

※小規模貯水槽水道の対象施設は、平成25年度時点で約4,300件あったが、小規模貯水槽設置建物の減少や対象施設の再精査により、令和2年度時点で約2,700件となっている。

## 事業 ④鉛製給水管の取替（水道） [6.1]

### ■事業目標

- ・鉛製給水管の腐食による漏水発生を防ぎ、鉛による水質への影響をなくするため、鉛製給水管を計画的に取り替えます。
- ・配水支管の更新と併せて工事を行うことで、効率的に鉛製給水管を取り替えます。また単独取替の際は、柔軟かつ迅速に進めるため、単価契約を活用します。
- ・鉛製給水管の取替を推進するため、補助金制度のPRとして、窓口での制度案内資料の配布や新規指定工事事業者への説明を行います。また、随時、補助金制度の相談に対応します。

※平成 28 年度から実施していた鉛製給水管使用者への個別通知は令和 2 年度末で完了しました。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
52,803	0	0	0	52,803

### ■業務計画

No. 4	鉛製給水管の単独取替		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取替工事の単価契約の発注</li> <li>・取替工事の施工（年 200 件）</li> <li>・私道掘削承諾書の取得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取替工事の施工（年 200 件）</li> <li>・舗装本復旧工事の発注、施工（単価契約）</li> <li>・次年度工事の私道掘削承諾書の取得</li> <li>・取替工事の単価契約の施行起案（債務負担）</li> </ul>	
担当部署	水道サービスセンター		

No.5	鉛製給水管取替補助金制度のPR	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金制度のPR 窓口での制度案内資料の配布 新規指定工事事業者への説明</li> <li>・補助金制度の相談対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金制度のPR 窓口での制度案内資料の配布 新規指定工事事業者への説明</li> <li>・補助金制度の相談対応</li> </ul>
担当部署	給排水設備課	

■指標計画





○鉛製給水管率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	7.4	7.0	6.7	6.3	5.9	5.6	5.2	4.1
変更計画	-	-	-	-	5.7*	5.4	5.1	4.1
年度目標	7.4	7.0	6.7	6.3	5.7	5.4	-	-
実績	7.1	6.8	6.3	5.9	5.6	-	-	-

※平成 30 年度と令和元年度の実績が翌年度の当初計画と同じ値となったため、計画を見直した。なお、鉛製給水管率は、堺市内全ての給水戸数に対する鉛製給水管使用戸数の割合を示しており、本事業による取替のほか、漏水の修繕工事などによる取替も計画に入れているため、令和 7 年度の目標は 4.1%に据え置いた。

## (2) 震災に強いまちの実現

震災時においても、避難所等への給水ルートや下水処理機能を確保し、被害を最小限にとどめるため、水道や下水道の重要な施設や管路・管きよの耐震対策を行います。

SDGs：ゴール				SDGs：ターゲット	
				3.3	
				6.1	6.2
				9.1	11b

### 事業 ①優先耐震化路線の構築（水道） [3.3 6.1 9.1 11.b]

#### ■事業目標

- ・震災時に避難所等へ水道水を供給するため、基幹管路の分岐部から、避難所（小中学校や高等学校）や病院等までの給水ルートとなる水道管路を優先的に耐震化します。

#### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
1,935,175	0	1,244,400	0	690,775

#### ■業務計画

No.6	優先耐震化路線の構築（水道） <span style="float: right; color: red; font-weight: bold;">重点</span>	
	前期	後期
	・優先耐震化路線の工事発注	・優先耐震化路線の工事施工（6.2km 構築）
担当部署	水道サービスセンター	

#### ■指標計画

##### ○優先耐震化路線の耐震化率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	65.0	72.0	75.0	79.0	82.0	86.0	90.0	92.0
変更計画	65.0	72.0	75.0	79.0	82.0	87.0	90.0	100
年度目標	65.0	71.0 <sup>※1</sup>	75.0	76.0	82.0	87.0	-	-
実績	65.9	69.6	73.6	78.3	85.6	-	-	-

※1 一部路線において、効率的な施工のため周辺の経年劣化管の更新と併せて施工することとした。これに伴い、工事の完了が平成30年度に伸びたため、平成29年度目標を当初計画から下方修正した。

※2 平成30年6月の大阪北部地震を受け、優先耐震化路線の耐震化率の目標値を、令和7年度末時点で92%から100%に前倒しすることにした。

## 事業 ②配水池の耐震化（水道） [3.3 6.1 9.1 11.b]

### ■事業目標

- ・震災時においても水道施設の中核である配水池の機能を保持するため、計画的な耐震化を進めます。
- ・配水池において、耐震化すべき箇所を絞り込むため、三次元静的非線形解析による耐震診断を実施します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
580,000	0	459,200	0	120,800

### ■業務計画

No.7	配水池の耐震化 <span style="float: right; background-color: red; color: white; padding: 2px;">重点</span>	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家原寺配水場配水池更新工事の施工</li> <li>・配水場の耐震診断業務の発注</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家原寺配水場配水池更新工事の施工</li> <li>・配水場の耐震診断業務の実施</li> </ul>
担当部署	水運用管理課 事業マネジメント担当	

### ■指標計画

#### ○配水池耐震化率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	77.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0	88.0
変更計画	77.3	77.3 <sup>※1</sup>	77.3	77.3	77.4	77.4	77.4	84.4 <sup>※2</sup>
年度目標	77.3	77.3	77.3	77.3	77.4	77.4	-	-
実績	77.3	77.3	77.3	77.3	77.4	-	-	-

※1 周辺工事（配水池工事・管路工事）との同時施工を避けるため、岩室配水池No.1 配水池の廃止を令和3年度に延期したことに伴い、当初計画を変更した。

※2 さつき野配水池の2池化による耐震化に比べ、広域化による水運用の方が有効性が高いと判断した。また、令和2年度の耐震診断に基づく耐震補強を優先し、御池台配水池No.1 配水池の耐震化を後年度に行うこととした。これらを踏まえ、当初計画を変更した。

## 事業 ③下水道施設の耐震化（下水道） [3.3 6.2 9.1 11.b]

### ■事業目標

- ・震災時の下水処理機能や交通機能を確保するため、避難所と水再生センターを結ぶ管きょと、河川・軌道下及び緊急輸送路下に埋設されている管きょを耐震化します。
- ・震災時に広域避難所において、下水道管きょの破損による溢水等を防止するため、広域避難地の敷地内に埋設されている下水道管（陶管）を耐震化します。
- ・新たなビジョンの策定に向け、地震対策計画（素案）に基づき、より詳細な地震対策計画の策定を進めます。

### （主な検討内容）

- ・人孔耐震化計画の策定に向けた検討内容や工程。
- ・国の「下水道地震総合事業」の拡充を踏まえた「重要な管きょ」の追加と見直し。
- ・約 230 基あるマンホールポンプの削減（震災時等に、マンホールポンプの機能が停電や機器の損傷等で停止し、溢水する可能性を軽減するため）。
- ・下水処理場やポンプ場の土木施設における耐震対策の方針。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
693,000	154,900	538,100	0	0

### ■業務計画

No.8	下水道管きょの耐震化		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化工事の発注 広域避難地（金岡公園・大泉緑地）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化工事の施工 広域避難地（金岡公園・大泉緑地）</li> </ul>	
担当部署	西部下水道サービスセンター		

No.9	新たなビジョンに向けた地震対策計画の策定	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人孔耐震化計画の策定に向けた検討</li> <li>・「重要な管きょ」の追加と見直し</li> <li>・マンホールポンプの削減に向けた検討</li> <li>・土木施設の耐震対策の検討（下水処理場、ポンプ場）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人孔耐震化計画の策定に向けた検討</li> <li>・「重要な管きょ」の追加と見直し</li> <li>・マンホールポンプの削減に向けた検討</li> <li>・土木施設の耐震対策の検討（下水処理場、ポンプ場）</li> </ul>
担当部署	事業マネジメント担当 西部下水道サービスセンター 下水道建設課 下水道施設課 下水道事業調整課	

■指標計画

○重要な建築施設の耐震対策率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	90.7	93.0	100	-	-	目標達成		
変更計画	-	-	-	97.6 <sup>※2</sup>	100 <sup>※2</sup>			
年度目標	90.7	93.0	100	97.6 <sup>※2</sup>	100 <sup>※2</sup>			
実績	90.5 <sup>※1</sup>	97.6	97.6	97.6	100			

※1 豎川・古川下水ポンプ場の耐震補強工事がアスベストの対策に時間を要した。そのため、工事の完了が平成29年4月となり、年度目標を下回った。

※2 泉北水再生センターの機械棟の一部の耐震化を、設備の改築更新と併せて実施することにした。そのため、耐震化の完了が令和2年度となった。

○重要な管きよの耐震対策率（％）＜調査結果反映後＞

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	-	-	-	-	-	-	-	-
変更計画	-	-	-	-	97.6 <sup>*</sup>	97.7	97.8	-
年度目標	-	-	-	-	97.6	97.7	-	-
実績	-	-	-	-	97.6	-	-	-

※計画策定時に耐震性があると判定した管きよの一部において、老朽管調査等の結果、陶管などの耐震性がない管きよの存在が判明した。この結果を反映した場合、耐震対策済みの管きよの延長が約10km減少するため、重要な管きよの耐震対策率が低下した。

【参考】＜調査結果反映前＞

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	98.0	98.6	99.3	100	-	-	-	-
変更計画	-	-	-	99.7 <sup>*</sup>	99.7 <sup>*</sup>	99.8	99.8	-
年度目標	98.0	98.6	99.6	99.7 <sup>*</sup>	99.7 <sup>*</sup>	-	-	-
実績	99.3	99.5	99.6	99.7	99.7	-	-	-

※一部管きよの耐震対策は、関連事業の進捗状況を考慮する必要があることから、令和元年度及び令和2年度の目標値を99.7%に変更した。

事業 ④津波対策の実施（下水道）[3.3 6.2 9.1 11.b]

■事業目標

- ・令和元年度に、「下水道施設の耐震対策指針と解説」と本市の津波対策の実施方針に基づく津波対策が完了しました。これにより、想定津波が押し寄せた場合でも、必要最低限の下水処理機能が確保される見込みです。津波対策の実施方針が見直された際は、必要に応じて津波対策を実施します。



■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-



### (3) 雨に強いまちの実現

大雨に対する浸水安全度を高めるため、浸水危険解消重点地区の雨水整備や雨水貯留浸透事業を推進します。また、浸水の情報を市民に届け、大雨への備えを促します。

SDGs：ゴール	SDGs：ターゲット
 11 住み続けられるまちづくりを	 13 気候変動に具体的な対策を
	11.5 11. b 13.1

#### 事業 ①雨水整備事業の推進（下水道）[11.5 11. b 13.1]

##### ■事業目標

- ・浸水安全度を高めるため、浸水危険解消重点地区の雨水整備（約 50mm/h）を着実に実施します。また、その他の地区についても、浸水地区の実態等に応じた「きめ細かい」対策を実施します。

※令和3年度時点で完了しない6地区については、引き続き、早期の完了をめざして取り組みます。

- ・令和2年6月の国の提言「気候変動を踏まえた下水道による都市浸水対策の推進について」を踏まえ、雨水管理総合計画と下水道施設の耐水化計画の策定を進めます。
- ・雨水管理総合計画の策定のため、「想定最大規模降雨によるシミュレーション」や「雨水管理方針（浸水要因分析等）」、「段階的な雨水整備計画（雨水整備計画（素案）の見直しを含む）」を検討します（検討期間約3年）。
- ・古川下水ポンプ場建設工事において、早期の完成と建設費の縮減をめざし、工期短縮策やコスト縮減策の検討、国費の確保を進めます。

##### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
4,773,000	1,853,800	2,874,200	15,000	30,000

##### ■業務計画

No.10	浸水危険解消重点地区における浸水対策 <span style="float: right; background-color: red; color: white; padding: 2px;">重点</span>	
	前期	後期
	・浸水対策工事の実施設計 金岡町地区 ・浸水対策工事の発注、施工（重点地区以外）	・浸水対策工事の実施設計 金岡町地区 ・浸水対策工事の発注、施工（重点地区以外）
担当部署	下水道建設課	

No.11	雨水管理総合計画と下水道施設耐水化計画の策定			
	前期		後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水管理総合計画策定業務の発注</li> <li>下水道施設耐水化計画の検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水管理総合計画の策定 想定最大降雨によるシミュレーション 雨水管理方針（浸水要因分析等）の検討</li> <li>下水道施設耐水化計画の策定</li> </ul>	
担当部署	事業マネジメント担当 下水道事業調整課 西部下水道サービスセンター 下水道建設課 下水道施設課			

No.12	古川下水ポンプ場建設工事の推進			<b>重点</b>
	前期		後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>躯体築造工事の実施</li> <li>放流渠築造工事の実施</li> <li>工期短縮策とコスト縮減策の検討（随時）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>放流渠築造工事の実施</li> <li>工期短縮策とコスト縮減策の検討（随時）</li> </ul>	
担当部署	下水道施設課			

### ■指標計画

#### ○重点地区の浸水対策実施率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	43.3	62.8	71.7	81.7	85.8	-	-	
変更計画	-	-	-	-	-	85.8 <sup>※2</sup>	85.8 <sup>※2</sup>	
年度目標	43.3	62.8	65.0 <sup>※1</sup>	81.7	85.8	85.8	-	
実績	43.3	60.8	65.0	76.7 <sup>※3</sup>	85.8	-	-	

※1 出島バイパス線における一部付帯工事の遅れにより、平成30年度目標を当初計画から下方修正した。

※2 浸水危険解消重点地区24地区のうち、6地区については令和5年度以降に対策が完了する。そのため、令和3年度と令和4年度は浸水対策実施率が増加しない。

※3 他工事との調整に伴い、菅池幹線、今井地区、丈六地区における浸水対策工事の工期を令和2年度に延期したため、年度目標を下回った。

## 事業 ②雨水貯留浸透の推進（下水道） [11.5 11. b 13.1]

### ■事業目標

- ・施設管理者や開発事業者との連携、協働により、令和元年度に雨水流出抑制施設の設置はビジョンの目標を達成しました。今後も、浸水安全度の向上のため、雨水貯留浸透施設の設置や普及促進を行い、下水道や河川に流入する雨水を減らします。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

### ■指標計画

#### ○雨水貯留タンク設置基数（累計）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	720	840	960	1,080	1,200	-	-	-
変更計画	-	-	-	制度廃止				
年度目標	720	746 <sup>※</sup>	806					
実績	682	731	807					

※雨水貯留タンク設置助成金の平成 28 年度実績が当初計画を大幅に下回ったことから、実績に基づいて年度目標を当初計画から下方修正した。

※雨水貯留タンク設置助成金は申請数の減少に伴い、選択と集中の観点から平成 30 年度に制度を廃止した。

#### ○公民連携（協働）による雨水流出抑制施設の設置（累計・m3）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	26,000	29,000	32,000	35,000	38,000	-	-	-
変更計画	-	-	-	-	目標達成			
年度目標	26,000	29,000	32,000	35,000				
実績	26,700	30,800	36,682	43,600				

## 事業 ③情報収集・提供の充実（下水道） [11.5 11. b 13.1]

### ■事業目標

- ・効果的かつ効率的な浸水対策のため、大雨時の下水道管内の水位計データや、浸水情報の蓄積を継続して実施します。
- ・市民の自助、共助の取組を推進するため、引き続き、下水道施設（狭間川雨水幹線）の水位情報を市民に提供します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

**事業 ④雨水施設の適切な管理の推進（下水道） [11.5 11. b 13.1]**

■事業目標

- ・効率的かつ有効的に浸水対策を行うため、雨水施設の適切な管理に向けた検討を進めます。

■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

■業務計画

No.13	雨水施設の適切な管理に向けた検討・協議	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水に係る施設の管理手法の検討</li> <li>・雨水に係る施設を所管する部局との協議</li> <li>・適切な管理に向けたスケジュールの整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水に係る施設の管理手法の検討</li> <li>・雨水に係る施設を所管する部局との協議</li> <li>・適切な管理に向けたスケジュールの整理</li> </ul>
担当部署	下水道管路部	

#### (4) 危機管理対策の推進

地震など危機事象が発生した際の被害を最小限にとどめ、早期復旧を図るため、各種訓練やマニュアルの整備、施設の整備を行うことで、危機管理体制を強化します。また、ハード整備と併せて、自助、共助の重要性を啓発します。

SDGs：ゴール				SDGs：ターゲット
<b>3</b> すべての人に健康と福祉を	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを	<b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう	3.3
				6.1 6.b 6.2
				11.5 11.b 13.1 17.17

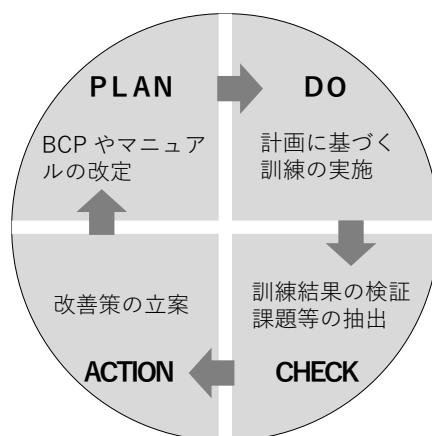
#### 事業 ①災害対応力の強化（水道・下水道） [3.3 6.1 6.2 11.5 11.b 13.1 17.17]

##### ■事業目標

- ・発災時（事故を含む）に、職員や委託業者が指示を待たずに迅速かつ的確に初動対応を取れるようにするため、訓練を通じて、業務継続計画やマニュアルを浸透させます。また、訓練結果を検証し、課題等を抽出のうえ、業務継続計画やマニュアルを改定します。
- ・発災時に、情報収集や対策立案、情報発信等を迅速に行うため、訓練を通じて S-JET と RAPIT の課題を検証し、運用方法を改善します。また、情報共有のツールとして、電子黒板システムとデジタルサイネージシステムを活用します。
- ・感染症と自然災害（風水害、大規模地震等）との複合災害が発生した場合に備え、対応マニュアルを整備し、訓練を実施します。
- ・発災時に、円滑に支援、受援を行うため、災害協定締結都市等との合同訓練を実施します。

※S-JET：Sakaishi - Jagesuidokyoku Emergency（緊急）Taskforce（任務部隊 本部）

※RAPIT：RiskAssessment（リスク分析）Promptly（即時）Integration（統合）Team（チーム）



■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
10,261	0	0	0	10,261

■業務計画

No.14	訓練の実施と BCP・マニュアルの改定 <span style="float: right; color: red; font-weight: bold;">重点</span>	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震災害に係る訓練の実施</li> <li>風水害に係る訓練の実施</li> <li>感染症との複合災害に係る訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練結果に基づく改善策の検討</li> <li>BCP とマニュアルの改定</li> </ul>
担当部署	危機管理・広報広聴担当 全課	

No.15	情報共有ツールの活用	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板システムとデジタルサイネージシステムの活用方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板システムとデジタルサイネージシステムの活用</li> </ul>
担当部署	危機管理・広報広聴担当 全課	

事業 ②事故対策の強化（水道・下水道）[6.1 6.2 11.b]

■事業目標

- 事故の発生を未然に防止するため、事故防止等検討委員会にて、工事等に起因する事故の原因究明と、再発防止に取り組みます。

■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

■業務計画

No.16	事故の未然防止と原因究明及び対応策の見直し	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理担当者会議によるリスクの情報共有（週1回）</li> <li>事故防止等検討委員会の開催（事故の原因究明 未然防止策の検討）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理担当者会議によるリスクの情報共有（週1回）</li> <li>事故防止等検討委員会の開催（事故の原因究明 未然防止策の検討）</li> </ul>
担当部署	危機管理・広報広聴担当 各部（室）	

## 事業 ③応急給水対策の強化（水道） [3.3 6.1 6.b 11.b]

### ■事業目標

- ・校区防災訓練等の機会を通じて、公助には一定の限界があり、飲料水のローリングストック（循環備蓄）が必要であることを啓発します。また、発災時における交通障害の発生を考慮し、各指定避難所に災害用備蓄水を配備します。
- ・大規模停電に伴う集合住宅、福祉施設、病院等における断水等の課題を踏まえ、施設管理者に対して、飲料水の備蓄や非常用水栓の活用などを啓発します。
- ・市民による応急給水活動を可能にするため、避難所となる小学校に災害時給水栓（すいちゃんのビックリじゃぐち）を設置し、避難所運営者に使用方法の説明を行います。
- ・令和元年度に、ビジョンで計画した給水基地と給水拠点の整備が完了しました。今後も、災害時の給水活動を円滑にするため、訓練等により応急給水対策を強化します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
52,936	4,850	0	0	48,086

### ■業務計画

No.17	飲料水の備蓄と啓発			
	前期		後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローリングストック（循環備蓄）の啓発</li> <li>・施設管理者への啓発</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローリングストック（循環備蓄）の啓発</li> <li>・指定避難所への災害用備蓄水の配備</li> <li>・施設管理者への啓発</li> </ul>	
担当部署	危機管理・広報広聴担当			
No.18	災害時給水栓の設置			
	前期		後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時給水栓設置工事の発注、施工（19か所）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時給水栓設置工事の施工（19か所）</li> <li>・災害時給水栓設置箇所の協議</li> <li>・避難所運営者向け説明会の実施</li> </ul>	
担当部署	水道サービスセンター 水道建設管理課			

■指標計画

○災害時給水栓数（箇所）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	事前調整	15/92	32/92	49/92	66/92	83/92	92/92	-
変更計画	-	19/92	41/92	58/92	75/100	94/100	100/100	-
年度目標	-	19/92	41/92	58/92	75/100	94/100	-	-
実績	-	19/92	41/92	58/92	75/100	-	-	-

※令和元年度の単年度実施計画から災害時給水栓の設置母数を 91 から 92 に修正した（登美丘南小学校を追加：平成 29 年度に大容量バイパス送水管からの給水設備を設置済み）。

※早期の設置完了に向け、関係部署と協議を行い、設置計画を前倒しした。

※令和 2 年度の単年度実施計画から設置母数を 92 から 100 に修正した（避難所機能が維持される旧湊小学校と、災害対策拠点となる全 7 区役所に災害時給水栓を設置することにしたため）。

○給水基地・給水拠点数（箇所）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	12/21	19/21	20/21	20/21	20/21	-	-	21/21
変更計画	12/21	12/21*	13/21	22/22*	目標達成			
年度目標	12/21	12/21	13/21	22/22				
実績	12/21	13/21	13/21	22/22				

※平成 29 年度に「給水拠点」の位置づけを、給水基地（給水車に充水する所、市民には給水しない）と、給水拠点（市民に給水する所）に見直した。これに伴い、指標名称を「給水拠点数」から「給水基地・給水拠点数」に変更した。

※小水力発電設備工事（陶器配水場）及び、大阪広域水道企業団によるバイパス送水管布設事業の遅れにより、計画を変更した。また平成 29 年度に整備箇所の見直しを行い、整備数を 22 か所とした。

事業 ④緊急連絡管の整備（水道）[3.3 6.1 11.b]

■事業目標

- ・令和元年度に、設置可能な箇所の緊急時連絡管の整備が、全て完了しました。今後は、非常時に滞りなく水道水を相互融通できるよう、災害協定締結都市との訓練を通じて、非常時の相互応援体制を強化します。

■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

■指標計画

○緊急連絡管設置数（箇所）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	10/15	12/15	12/15	12/15	13/15	13/15	15/15	15/15
変更計画	-	-	-	-	13/13 <sup>※2</sup>	目標達成 <sup>※2</sup>		
年度目標	10/15	12/15	12/15	13/15				
実績	9/15 <sup>※1</sup>	12/15	12/15	13/15				

※1 田園連絡管布設工事の完成が平成 29 年 5 月に繰り越したため、年度目標を下回った。

※2 令和元年度に緊急連絡管の整備のため、2 つの給水区域を調査したところ、送水圧の不足などにより、連絡管を設置できないことが判明した。そのため、緊急連絡管の設置計画を 15 か所から 13 か所に見直した。



## 事業 ⑤電源の確保（水道） [3.3 6.1 11.b]

### ■事業目標

- ・広域停電に対応するため、家原寺配水場において、自家発電設備の更新を完了し、配水管理センターと水質試験棟の非常用電源として使用できるようにします。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
370,000	0	0	0	370,000

### ■業務計画

No.19	自家発電設備の設置	
	前期	後期
	・家原寺配水場自家発電設備更新工事の施工	・家原寺配水場自家発電設備更新工事の施工
担当部署	水運用管理課	

## 事業 ⑥マンホールトイレの整備（下水道） [3.3 6.2 6.b 11.b]

### ■事業目標

- ・小学校などに設置したマンホールトイレを適切に維持管理します。また、市長事務部局から追加整備の依頼があった場合、運用面等を協議のうえ、整備を検討します。
- ・発災時に滞りなくマンホールトイレを運用できるように、危機管理室や各区自治推進課と連携し、校区自治会等へマンホールトイレの使用方法的説明や啓発を行います。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

### ■指標計画





○小学校におけるトイレ機能確保率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	95.7	100	目標達成					
実績	95.7	100						

## 2. 将来に向けた快適な暮らしの確保

### (1) 里道・私道の污水整備（衛生的に暮らせるまちの実現）

日常生活や社会経済活動から発生する污水を適切に排除・処理し、快適な暮らしを確保するため、整備効果が高い路線に重点化して、里道・私道の整備に取り組みます。

SDGs：ゴール				SDGs：ターゲット	
				3.3	3.9
				6.2	6.3 6.6
				14.1	15.1

#### 事業 ①里道・私道の污水整備（下水道） [3.3 3.9 6.2 6.6 14.1 15.1]

##### ■事業目標

- ・里道、私道において、利用者から污水整備の希望があり、土地使用承諾が整っている場合は、引き続き、私道公共下水道布設制度により、早期に整備を進めます（※）。

※これまで、私道公共下水道布設制度と私道排水設備工事補助金制度の2制度で、里道、私道の污水整備を進めてきました。しかし、私道排水設備工事補助金制度は申請件数が減少し、一定の役割を終えたため、令和3年3月末をもって制度を終了しました。

##### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
344,426	0	307,000	0	37,426

##### ■指標計画

##### ○下水道処理人口普及率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	98.3	98.3	98.3	98.4	98.4	-	-	-
変更計画	-	-	目標廃止					
年度目標	98.3	98.3						
実績	98.0	98.1	98.3	98.4	98.5	-	-	-

※堺市においては、平成26年度末に公道部分への公共下水道整備が完了している。また、平成28年度には指標「里道・私道整備延長」の計画を見直した。これに伴い、今後普及率の大幅な増加が見込めないため、指標「下水道処理人口普及率」を目標から外した。

○里道・私道整備延長累計 (km)




	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	1.4	2.8	4.2	5.6	7.0	目標達成		
変更計画	0.1(下半期) ※1	0.3	0.75	1.2	1.7			
年度目標	-	0.3	0.75	1.7	目標達成※2			
実績	0.32	0.78	1.69	2.07	2.4	-	-	-

※1 平成 28 年度前期の実績が当初計画を大幅に下回ったため、ビジョンの戦略である「選択と集中」の観点から、目標値を現実的な形で見直し、平成 28 年度後期以降の計画を変更した。なお、表に記載の実績は、平成 28 年度前期の実績 0.18km を除く。

※2 令和元年度に変更計画の目標を達成したため、令和 2 年度以降は年度目標を設定しない。

## (2) 川や海の水環境が良好に保たれるまちの実現

大阪湾や石津川の水環境を改善するために導入した高度処理施設の運転を最適化し、処理水質を安定的に維持します。

SDGs：ゴール	SDGs：ターゲット
  	6.3 6.6 14.1 15.1

### 事業 ①処理の高度化と安定化（下水道）[6.3 6.6 14.1 15.1]

#### ■事業目標

- ・膜分離活性汚泥法（MBR）施設を導入した泉北水再生センターにおいて、処理水質を経済的かつ安定的に維持するため、既存施設との最適化及び保有資源の活用を図ります。
- ・三宝水再生センターにおいて、処理水質を経済的かつ安定的に維持するため、水質の管理と運転管理の工夫を継続して実施します。

#### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
249,021	0	0	0	249,021

#### ■業務計画

No.20	膜分離活性汚泥法（MBR）施設での処理水質の管理	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MBR の処理コスト削減と水質評価</li> <li>・ 放流先河川の水質調査（夏季 1 回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MBR の処理コスト削減と水質評価</li> <li>・ 放流先河川の水質調査（冬季 1 回）</li> </ul>
担当部署	三宝水再生センター 下水道施設課	

No.21	処理の経済性と処理水質の安定化（三宝水再生センター）	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネルギー運転の継続</li> <li>・ 運転管理の改善点の探求</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネルギー運転の継続</li> <li>・ 運転管理の改善点の探求</li> </ul>
担当部署	三宝水再生センター	

## 事業 ②合流式下水道の改善（下水道） [6.3 6.6 14.1 15.1]

### ■事業目標





- ・本市の合流改善事業は、下水道法施行令に定められた平成 25 年度末の合流改善を達成し、適切に事業評価を行いました。今後は、合流式下水道の改善対策の効果を確認しつつ、適切に対策施設を運用します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

### (3) 上下水道が安定的に機能するまちの実現（施設の維持管理と更新）

上下水道事業を将来にわたり安定して経営するため、アセットマネジメント手法を用いた、計画的な維持管理と施設更新により、施設の健全度を保ちます。

SDGs：ゴール				SDGs：ターゲット	
				3.3	
				6.1 6.2	
				9.1	11.b

#### 事業 ①基幹管路（幹線管）の更新（水道） [3.3 6.1 9.1]

##### ■事業目標

- ・断水の発生や道路陥没などの二次災害を防止するため、水道基幹管路腐食進行度評価結果に基づき、陶器系、晴美台 15 池系、家原寺系の更新を進めます。また、後年の更新工事に向けて、実施設計業務を進めます。
- ・大阪広域水道企業団の新た井分岐から受水し、給水の安定性を向上させるため、管路等の水道施設の整備を進めます。
- ・民間活力の導入により、基幹管路の耐震化を効率的に進めるため、引き続き、大阪市の事業手法を参考に、PFI 等導入可能性調査を行います。

##### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
1,608,389	357	1,011,000	0	597,032

##### ■業務計画

No.22	基幹管路の更新		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹管路更新工事の施工 企業団新分岐受水管 晴美台 15 池系 家原寺系 堀上町ほか（減径）</li> <li>・実施設計業務の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹管路更新工事の施工 企業団新分岐受水管 晴美台 15 池系 家原寺系 陶器系 堀上町ほか（減径）</li> <li>・実施設計業務の実施</li> </ul>	
担当部署	水道建設管理課 事業マネジメント担当		

No.23	基幹管路の更新における発注手法の選定・発注準備		<b>重点</b>
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PFI等導入可能性調査の実施（9月完了）</li> <li>・公民連携手法の意思決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザー業務の発注</li> <li>・堺市附属機関の設置等に関する条例の改正</li> </ul>	
担当部署	広域化・公民連携・ICT推進担当 水道建設管理課 事業マネジメント担当 事業サポート課		

※後期の「アドバイザー業務」はPFI等の導入を前提としており、前期の公民連携手法の意思決定によっては、実施しない場合がある。

## ■指標計画

### ○基幹管路耐震化率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	22.7	23.9	26.4	27.6	29.4	30.6	31.7	34.5
変更計画	-	-	-	27.3	28.0	29.2	29.7	34.5
年度目標	22.7	24.1	26.6	27.3	28.0	29.2	-	-
実績	22.8	24.0	26.7	27.1	29.1	-	-	-

### ＜＜基幹管路耐震化率について＞＞

基幹管路（主にφ350mm以上の水道管）を耐震化するにあたり、「基幹管路をそのままの口径で更新した場合」と「ダウンサイジング（水道管の口径の縮小）のうえ配水支管（φ300mm以下の水道管）として更新した場合」を比較すると、ダウンサイジングした場合は、耐震化率の伸び率が低くなります（例参照）。

基幹管路耐震化率の変更計画は当初計画を下回っていますが、これはダウンサイジングのうえ基幹管路を更新するためであり、令和2年度末時点における基幹管路更新の実施延長は、計画延長を上回っています（表1参照）。

今後、計画延長以上に基幹管路を更新することにより、令和7年度末時点の基幹管路耐震化率を当初計画の34.5%まで向上させます。

（例）

▷5kmの基幹管路をそのままの口径で更新した場合

耐震化済基幹管路（km） 50km → 55km  
 ----- 【更新前 50%】 ⇒ ----- 【更新後 55.0%】  
 基幹管路総延長（km） 100km → 100km

▷5kmの基幹管路をダウンサイジングのうえ配水支管として更新した場合

耐震化済基幹管路（km） 50km → 50km  
 ----- 【更新前 50%】 ⇒ ----- 【更新後 52.6%】  
 基幹管路総延長（km） 100km → 95km

（表1）基幹管路更新延長（累計）の達成率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
計画延長(km)	6.5	9.7	17.9	20.4	25.5	28.4	30.8	40.1
目標延長(km)	6.6	10.8	19.3	21.4	26.0	29.5	32.7	46.3
実施延長(km)	6.8	11.2	19.3	20.4	29.3	-	-	-
計画達成率(%)	104.0	116.4	108.0	100.4	114.6	-	-	-

※達成率は計画延長と実施延長の小数点第2位以下の数値を含めて計算しており、表記の延長により計算した値とは異なる。

## 事業 ②配水支管（φ300mm 以下）の更新（水道） [3.3 6.1 9.1]

### ■事業目標

- ・事業量の平準化を図りつつ、漏水事故の未然防止及び管路の耐震化を進めるため、アセットマネジメントに基づき、経年劣化した配水支管の更新を行います。なお、配水支管の更新に併せて、鉛製給水管を取り替えます。
- ・配水支管の更新に要する期間の短縮や業務の効率化を目的として、簡易 DB 方式（概算設計方式による設計・施工一括発注）で、配水支管の更新工事を発注します。また、令和 5 年度以降の本格導入に向けて実施結果を検証し、今後の方向性を検討します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
3,085,819	0	1,809,000	0	1,276,819

### ■業務計画

No.24	配水支管の更新 <span style="float: right;">重点</span>	
	前期	後期
	・配水支管更新工事の発注、施工	・配水支管更新工事の施工（22.5km 完了）
担当部署	水道サービスセンター	

No.25	簡易 DB による配水支管更新工事の発注・検証 <span style="float: right;">重点</span>	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易 DB による工事発注（1 回目）</li> <li>・簡易 DB の検証、仕様書等の見直し</li> <li>・発注路線（2 回目以降）の設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検証結果のとりまとめ、2 回目への反映</li> <li>・発注路線（2 回目以降）の設計、発注</li> <li>・次年度発注路線の選定</li> </ul>
担当部署	水道部 サービス推進部	

### ■指標計画

○水道管路の耐震化率（%）※

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	24.1	25.2	26.4	27.5	28.6	29.6	30.6	33.8
変更計画	-	-	-	-	-	-	-	-
年度目標	24.1	25.2	26.4	27.5	28.6	29.6	-	-
実績	24.2	25.2	26.5	27.6	29.1	-	-	-

※現行の上下水道ビジョンでは「総水道管路の耐震化率」と呼称していたが、令和 3 年度以降は「堺市基本計画 2025」に合わせ、「水道管路の耐震化率」と呼称する。



### 事業 ③管路の維持管理（水道） [3.3 6.1 9.1]

#### ■事業目標

- ・漏水を早期に発見し、漏水量を抑制するため、配水支管と給水管を対象に、漏水調査を実施します。また、広域連携による事業費の削減を目的に、富田林市における漏水調査と合わせて調査業務を発注します。
- ・施設の長寿命化のため、水管橋の点検や塗装工事を行います。
- ・事故などの異常事態に対応するため、基幹管路の弁栓類の設置状況や漏水の調査、「あんしん給水栓」の点検を実施します。

#### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
74,485	0	0	16,650	57,835

#### ■業務計画

No.26	漏水調査の実施（富田林市との共同発注）	
	前期	後期
	・漏水調査業務の発注（R3～R4 債務負担）	・漏水調査業務の実施（R3～R4 債務負担）
担当部署	水道サービスセンター	

No.27	水管橋の維持管理	
	前期	後期
	・水管橋点検業務委託の実施 （R2～R3 債務負担：140 橋）	・水管橋点検業務委託の発注、実施 （R3～R4 債務負担：140 橋） ・水管橋点検業務の実施（直営：40 橋/年） ・水管橋塗装工事の発注、施工 （R3～R4 債務負担：4 橋）
担当部署	水道サービスセンター	

No.28	基幹管路弁栓等の維持管理	
	前期	後期
	・弁栓類調査業務の発注（R3～R4 債務負担） ・弁栓調査業務の実施（150 か所/年） ・あんしん給水栓の点検（16 か所/年）	・弁栓調査業務の実施（150 か所/年） ・あんしん給水栓の点検（16 か所/年）
担当部署	水道サービスセンター	

## 事業 ④配水池の維持管理（水道） [3.3 6.1 9.1]

### ■事業目標

- ・配水池の適正管理及び長寿命化のため、職員による定期点検を行います。
- ・配水池の維持管理のため、10年毎に流入弁、流出弁（手動弁）を点検、整備します。
- ・配水施設の健全性を確保するため、浅香山配水場と家原寺配水場の建築物の修繕に向けて、設計業務を完了させます。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
15,753	0	0	0	15,753

### ■業務計画

No.29	配水池内部の劣化度調査・定期点検	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃作業、定期点検の実施 桃山台配水場No.1 配水池</li> <li>・潜水清掃業務等の発注 さつき野配水池</li> <li>・劣化度調査業務の発注 岩室高地配水池No.1 超高池</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃作業、定期点検の実施 浅香山配水場No.1 高架配水池 陶器配水場No.1 配水池</li> <li>・潜水清掃業務等の実施 さつき野配水池</li> <li>・劣化度調査の実施 岩室高地配水池No.1 超高池</li> </ul>
担当部署	水運用管理課	

No.30	配水池流入弁・流出弁の維持管理	
	前期	後期
	・配水池流入弁流出弁点検業務の発注（10台）	・配水池流入弁流出弁点検業務の実施（10台）
担当部署	水運用管理課	

No.31	配水施設の維持管理（建築物）	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事実施設計業務の実施 浅香山配水場 家原寺配水場 ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事実施設計業務の実施 浅香山配水場 家原寺配水場 ほか</li> </ul>
担当部署	水運用管理課	

■指標計画

○配水池の劣化度調査数（池）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	1/6	2/6	3/6	4/6	4/6	4/6	4/6	6/6
変更計画	0/6*	0/6*	2/6	4/6	4/6	5/6	5/6	6/6
年度目標	1/6	1/6	2/6	4/6	4/6	5/6	-	-
実績	0/6*	0/6	2/6	4/6	4/6	-	-	-

※平成 28 年度に陶器配水場No2 配水池の劣化度調査が入札不調（入札参加者なし）となったことに伴い、計画を変更した。また、アスベスト調査や他工事を考慮し、再度調査スケジュールを見直した。

事業 ⑤機械・電気・計装設備の更新（水道）[3.3 6.1 9.1]

■事業目標

- ・施設を長寿命化し、長期的な更新コストを削減するため、点検・故障履歴など、客観的なデータをもとに、計画的に機械・電気・計装設備を更新します。

■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
67,100	0	0	0	67,100

■業務計画

No.32	設備の更新	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流量計更新工事の発注 （桃山台配水場 3 台、岩室配水場 1 台）</li> <li>・ 配水場無停電電源設備更新工事の発注 （東山制御所 1 台、さつき野配水池 1 台）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流量計更新工事の施工 （桃山台配水場 3 台、岩室配水場 1 台）</li> <li>・ 配水場無停電電源設備更新工事の施工 （東山制御所 1 台、さつき野配水池 1 台）</li> </ul>
担当部署	水運用管理課	

## 事業 ①～⑤共通：水道アセットマネジメント計画の策定（水道） [3.3 6.1 9.1]

### ■事業目標

- ・令和5年度を開始年度とする新たなビジョンの策定に向けて、令和2年度に策定した超長期のアセットマネジメント計画（案）に対し、懇話会で有識者から意見を聴取します。また、聴取した意見などを踏まえ、適宜アセットマネジメント計画（案）を修正します。
- ・PDCA サイクルにより、最新の数値を反映するなど、アセットマネジメント計画を管理する仕組を構築します。

#### ○現行の水道アセットマネジメント計画

検討期間：30年間

検討要素：更新需要に基づく資産管理

#### ○詳細な水道アセットマネジメント計画

検討期間：100年間

検討要素：財政計画の精度向上、施設規模の適正化・再構築

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

### ■業務計画

No.33	水道アセットマネジメント計画（案）の精度向上		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇話会における意見聴取</li> <li>・アセットマネジメント計画（案）の修正</li> <li>・アセットマネジメント計画を管理する仕組の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇話会における意見聴取</li> <li>・アセットマネジメント計画（案）の修正</li> <li>・アセットマネジメント計画を管理する仕組の構築</li> </ul>	
担当部署	事業マネジメント担当 水道部 経営戦略担当		

## 事業 ⑥下水道設備のアセットマネジメント（下水道） [3.3 6.2 9.1]

### ■事業目標

- ・令和5年度を開始年度とする新たなビジョンの策定に向けて、令和2年度に策定した超長期のアセットマネジメント計画（案）に対し、懇話会で有識者から意見を聴取します。また、聴取した意見などを踏まえ、適宜アセットマネジメント計画（案）を修正します。
- ・水再生センターやポンプ場において、設備の健全度を維持するため、下水道アセットマネジメント（設備）に基づき、設備を更新します。また、修繕履歴や点検結果をデータ入力し、健全度評価を実施のうえ、改築更新計画を見直します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
5,830,086	1,894,240	3,172,760	0	763,086

### ■業務計画

No.34	下水道アセットマネジメント計画の精度向上		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇話会における意見聴取</li> <li>・アセットマネジメント計画（案）の修正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇話会における意見聴取</li> <li>・アセットマネジメント計画（案）の修正</li> </ul>	
担当部署	事業マネジメント担当 下水道施設部 経営戦略担当		

No.35	下水道アセットマネジメント（設備）に基づく設備の更新	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築工事（設備）の発注</li> <li>・改築工事（マンホールポンプ）の発注</li> <li>・修繕履歴等のデータ入力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築工事（設備）の発注、施工</li> <li>・改築工事（マンホールポンプ）の施工</li> <li>・修繕履歴等のデータ入力</li> <li>・健全度評価の実施</li> <li>・施設の課題の共有</li> </ul>
担当部署	下水道施設課 三宝水再生センター 西部下水道サービスセンター 事業マネジメント担当	

### ■指標計画

○目標耐用年数に満たない設備の割合（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	70.8	69.0	68.5	69.0	69.2	-	-	-
変更計画	-	-	-	-	-	69.6	68.3	-
年度目標	70.8	69.0	68.5	69.0	69.2	69.6	-	-
実績	73.0	71.8	66.7	69.6	69.7	-	-	-

## 事業 ⑦下水道管きよのアセットマネジメント（下水道） [3.3 6.2 9.1]

### ■事業目標

- ・令和5年度を開始年度とする新たなビジョンの策定に向けて、令和2年度に策定した超長期のアセットマネジメント計画（案）に対し、懇話会で有識者から意見を聴取します。また、聴取した意見を踏まえ、適宜アセットマネジメント計画を修正します。
- ・下水道アセットマネジメント（管きよ）として、布設後40年を経過した老朽管きよを調査し、改築更新や修繕を実施します。また、点検結果や修繕履歴をデータベースに蓄積します。
- ・国土交通省が示した「主要な管きよ（交付対象範囲）」の見直し（※）を踏まえ、本市の改築更新計画への影響の確認やアセットマネジメント計画の見直しなどの検討を進めます。

※令和3年1月に、国土交通省が以下の方向性を示しました。

汚水管と合流管の改築に係る交付対象範囲の縮小

雨水管の改築に係る交付対象範囲の拡充

- ・令和5年度を開始年度とする包括的民間委託について、業務内容や発注形態の検討を進めます。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
2,350,599	43,250	1,499,750	0	807,599

### ■業務計画

再掲	下水道アセットマネジメント計画の精度向上【No.34】		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇話会における意見聴取</li> <li>・アセットマネジメント計画（案）の修正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇話会における意見聴取</li> <li>・アセットマネジメント計画（案）の修正</li> </ul>	
担当部署	事業マネジメント担当 下水道管路部 経営戦略担当		

No.36	老朽管きよの劣化状況調査	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽管調査業務の発注（R3～R4で実施） 堺区・西区エリア(18)～(22)</li> <li>・老朽管調査業務の実施（R2～R3で実施） 堺区・西区エリア(12)～(17)</li> <li>・老朽管調査業務の実施（包括的民間委託） 南区エリア⑭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽管調査業務の発注（R3～R4で実施） 堺区・西区エリア(18)～(22)</li> <li>・老朽管調査業務の実施（包括的民間委託） 南区エリア⑭</li> </ul>
担当部署	西部下水道サービスセンター 下水道管路課	

No.37	老朽管きよの改築更新・修繕の実施	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>改築更新、修繕工事の発注 エリア⑦、⑧ (R1～R3 で実施) エリア⑪ (R3～R4 で実施)</li> <li>改築更新、修繕工事の実施 エリア堀上緑町、(A)、(F)、①、②、③、⑦、⑧、⑪</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改築更新、修繕工事の発注 エリア(8)(9)(10)(B) (R3～R5 で実施) エリア⑪ (R3～R4 で実施)</li> <li>改築更新、修繕工事の実施 エリア堀上緑町、(A)、(B)、(F)、(8)、(9)、(10)、①、②、③、⑦、⑧、⑪</li> </ul>
担当部署	西部下水道サービスセンター	

No.38	管きよの維持管理における委託手法の検討	<b>重点</b>
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期包括的民間委託の検討 マンホールポンプほか保守点検業務 下水道道路施設維持管理等業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期包括的民間委託の検討 マンホールポンプほか保守点検業務 下水道道路施設維持管理等業務</li> </ul>
担当部署	下水道管路部 事業サポート課	

■指標計画

○老朽管きよ調査率 (%)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	52.3	59.3	65.1	71.8	79.7	-	-	-
変更計画	-	-	-	65.1 <sup>※2</sup>	73.7 <sup>※2</sup>	83.0	87.0	-
年度目標	52.3	59.3	65.1	65.1	73.7	83.0	-	-
実績	52.1 <sup>※1</sup>	58.4 <sup>※1</sup>	58.4	65.3	75.1	-	-	-

※1 計画時の概算値と調査時の実測値との差により目標値を下回っているが、計画範囲は調査済み。

※2 布設後 40 年を経過した老朽管きよ (約 700km) の調査を実施し、平成 29 年度時点で調査率が約 60%に達した。このことで管きよの劣化傾向が一定把握できたため、調査済みの管きよの改築更新工事を優先した (計画範囲の調査を令和 5 年度までに完了させる目標は維持する)。

## 事業 ⑧下水道施設の統廃合（下水道） [3.3 6.2 9.1 11b]

### ■事業目標

- ・三宝水再生センターと石津水再生センターのネットワークを構築するため、三宝水再生センターと古川下水ポンプ場を結ぶ污水管の布設を進めます。
- ・汚水量の将来推計と水再生センターの運転状況を踏まえ、将来、耐用年数を迎える水再生センターの再構築に関する長期構想を示し、設備のアセットマネジメント計画との整合を図ります。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
250,000	84,500	120,000	0	45,500

### ■業務計画


No.39	下水処理場間のネットワークの構築	
	前期	後期
	・三宝－古川間ネットワーク線布設工事の発注準備	・三宝－古川間ネットワーク線布設工事の発注
担当部署	下水道建設課	

No.40	水再生センターと下水ポンプ場の再構築の検討	
	前期	後期
	・再構築の検討 石津水再生センター、浜寺下水ポンプ場	・再構築の検討 石津水再生センター、浜寺下水ポンプ場
担当部署	事業マネジメント担当 下水道施設部	



#### (4) 上下水道が安定的に機能するまちの実現（持続的な企業経営）

上下水道事業を持続的に経営するため、資産の有効活用や水洗化の促進、収納率の向上など、収入確保に向けた取組や、事業の効率化による支出削減により、経営基盤を強化します。

SDGs：ゴール	SDGs：ターゲット
 6 安全な水とトイレ を世界中に	6.1 6.2

#### 事業 ①資産・資源の有効活用による収入の確保（水道・下水道）[6.1 6.2]

##### ■事業目標

- ・普通財産や不要施設、未利用用地等の処分や利活用を早期に実施します。また、従来の発想を転換し、新たな収入源の確保をめざします。
- ・上下水道局が管理する資産を整理し、受益者負担の見直しによる収入の確保や維持管理費用の削減を図ります。
- ・局保有資産を広告媒体とし、広告事業収入を確保します。また、官公庁オークションを活用し、不用品を売却することで、収入を確保します。

##### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
83,780	0	0	0	83,780

##### ■業務計画

No.41	低・未利用財産の売却、貸付（水道事業）		<b>重点</b>
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通財産の売却準備</li> <li>・余剰地処分の準備、調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通財産の売却</li> <li>・余剰地処分の準備、調整</li> </ul>	
担当部署	事業サポート課 水運用管理課		

No.42	低・未利用財産の売却、貸付（下水道事業）		<b>重点</b>
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用可能資産の貸付の検討、実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用可能資産の貸付の検討、実施</li> </ul>	
担当部署	事業サポート課 下水道管路課 三宝水再生センター 下水道施設課		

No.43	その他資産・資源の有効活用による収入確保	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広告主の募集、契約、広告料の収納（バナー、車両、検針票）</li> <li>・ 不用品の売却</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広告主の募集、契約、広告料の収納（バナー、車両、検針票）</li> <li>・ 不用品の売却</li> </ul>
担当部署	事業サポート課	

## 事業 ②水洗化の促進（下水道） [6.2]

### ■事業目標

- ・ 快適な暮らしの確保と収入確保のため、大口水道使用者や長期未水洗建物などを対象に啓発や指導を実施し、水洗化を促進します。また、水道の開栓時に下水道への接続状況を調査し、無届使用を早期に発見します。
- ・ 未水洗建物から排出される雑排水に対する通報、苦情等への対応として、し尿汲み取りや浄化槽の担当部局と連携して、未水洗建物所有者に指導を行います。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
1,002	0	0	0	1,002

### ■業務計画

No.44	水洗化の促進（啓発・指導）と無届使用の調査	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水洗化促進の実施 大口水道使用者 長期未水洗建物 告示後3年経過建物</li> <li>・ 無届使用者への対応強化</li> <li>・ 通報等に基づく未水洗建物への指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水洗化促進の実施 大口水道使用者 長期未水洗建物 告示後3年経過建物</li> <li>・ 無届使用者への対応強化</li> <li>・ 通報等に基づく未水洗建物への指導</li> </ul>
担当部署	給排水設備課	

### ■指標計画

#### ○下水道接続率（水洗化率）（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	接続促進の強化、無届接続をなくす取組の実施				96.3	-	-	-
変更計画	-	-	-	-	95.5*	95.6	95.7	-
年度目標	94.5	94.9	95.3	95.7	95.5	95.8	-	-
実績	94.3	94.6	95.1	95.4	95.7	-	-	-

※平成28年度以降、令和2年度に下水道接続率を96.3%にすることを目標に、水洗化を推進してきた。しかし、建物の老朽化等の理由により、水洗化に踏み切れない世帯も多く、令和2年度の目標を達成することが困難である。そのため、令和2年度での目標値を96.3%から95.5%に変更した。

## 事業 ③企業債の借入抑制（水道） [6.1]

### ■事業目標

- ・後年度の支払利息の削減と、世代間の負担の公平性を確保するため、借入利率を考慮のうえ、健全経営に必要な資金を確保しつつ、適切な範囲での企業債の借入に努めます。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

### ■業務計画

No.45	企業債の借入	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支見通しの更新（決算反映）</li> <li>・借入利率の把握と必要資金の算出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支見通しの更新（予算反映）</li> <li>・計画的な企業債の借入れ （企業債借入額の決定と企業債残高の管理）</li> </ul>
担当部署	経営戦略担当 事業サポート課	

### ■指標計画

#### ○企業債残高（億円）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	309	327	350	360	373	371	374	390
変更計画	-	-	-	-	-	-	-	-
年度目標	-	-	-	343	349	371	-	-
実績	296	306	328	333	350	-	-	-

※指標計画「企業債借入抑制額」は、当初ビジョンの事業量から算出される企業債の最大借入可能額を基準に算定していた。しかし、耐震化事業など、市民の安全・安心に係る事業を前倒しすることにしたため、当初ビジョンに比べ事業量が増加し、算定基準となる企業債の最大借入可能額が増加した。これにより、企業債借入抑制額による企業債残高の管理が困難となったため、当初ビジョンどおり令和7年度末の企業債残高を390億円以下にすることを目標に、令和2年度から指標計画を「企業債残高」に変更する。

#### ○企業債借入抑制額（億円/年）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	-	-	-	-	-	-	-	-
変更計画	-	-	-	-	-	-	-	-
年度目標	9.9	8.2	8.5	6.9	指標を変更			
実績	15.7	9.9 <sup>※1</sup>	7.4 <sup>※2</sup>	7.0				

※1 当初、平成29年度の借入抑制額は16.9億円としていたが、平成30年度に繰り越した工事に対し7億円を起債したため、抑制額は9.9億円となった。

※2 受注者等による工事書類の偽造により、工事の発注量が減少したため、年度目標を下回った。

## 事業 ④受水費の削減（水道） [6.1]

### ■事業目標

- ・有収率の向上のため、新たな不明水の削減手法を検討します。また、漏水の早期発見に向けて、減圧弁室に流量計を新たに設置し、より詳細な流量監視を行います。さらに、漏水の早期発見に向けて積極的に新しい技術を検証します。
- ・配水池の隔離調査を実施し、配水池の漏水の有無を確認します。また、隔離調査の結果と各配水池の流入流量計、流出流量計の差異などを精査します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
64,000	0	0	0	64,000

### ■業務計画

No.46	不明水対策の検討と実施		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不明水対策の検討</li> <li>・北余部西減圧系流量計設置工事の施工</li> <li>・豊田減圧系流量計設置工事の発注</li> <li>・漏水の早期発見に向けた新たな技術の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不明水対策の検討</li> <li>・豊田減圧系流量計設置工事の施工</li> <li>・漏水の早期発見に向けた新たな技術の検証</li> </ul>	
担当部署	水道部 事業サービス課 経営企画室		

No.47	配水池隔離調査の実施	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水池隔離調査の実施（夏季・5か所）</li> <li>・配水池隔離調査（冬季）の計画書の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水池隔離調査の実施（冬季・5か所）</li> <li>・調査結果による漏水の有無の検証</li> <li>・流入流量計と流出流量計の差異等の精査</li> </ul>
担当部署	水運用管理課	

### ■指標計画

○有収率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	-	-	-	-	-	-	-	94.6
変更計画	-	-	-	-	-	-	-	-
年度目標	92.4	92.8	93.0	93.0	93.0	93.0	-	-
実績	92.4	91.6	90.7	91.3	92.6	-	-	-

## 事業 ⑤収納コストの削減（水道・下水道） [6.1 6.2]

### ■事業目標

・納入通知書による支払いから、収納コストが安価な口座振替に切り替えていただくため、利用者への啓発を行います。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

### ■指標計画

#### ○口座振替率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	-	-	-	-	-	-	-	80
変更計画	-	-	-	73.0 <sup>※1</sup>	目標廃止			
年度目標	74.2	74.9	75.6	73.0 <sup>※1</sup>				
実績	73.9	74.4	75.1	75.5	75.8	-	-	-

※1 ビジョンに掲載している口座振替率は、利用者全体ではなく、一定年数居住している利用者を対象に算定している。  
令和元年度の口座振替率は、より実態に近いものとするため、利用者全体を対象として算定する。

※2 利用者ニーズの多様化に伴い、令和元年度から新たな納付方法を導入する。そのため、指標「口座振替率」を目標から外す。

## 事業 ⑥収納率の向上（水道・下水道） [6.1 6.2]

### ■事業目標

- ・未収債権の増加を抑制するため、料金滞納事案の発生後、処理要領に基づき公平公正な給水停止を実施します。
- ・債権を早期に回収するため、給水停止解除時の債権回収の強化や弁護士委託の有効活用、高額滞納者への法的措置などを行います。
- ・期日内での納付を促進するため、口座振替を推奨します。また、利用者が支払いやすい方法を調査、研究するほか、新たな納付方法について、他都市の事例等を調査します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
107,405	0	0	0	107,405

### ■業務計画

No.48	給水停止解除時の債権回収の強化		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理要領に基づく給水停止</li> <li>・2請求月分以上の納付及び支払計画書徴取（給水停止解除条件の徹底）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理要領に基づく給水停止</li> <li>・2請求月分以上の納付及び支払計画書徴取（給水停止解除条件の徹底）</li> </ul>	
担当部署	事業サービス課		

No.49	弁護士委託の有効活用	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納事案の弁護士対応への早期切換え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納事案の弁護士対応への早期切換え</li> </ul>
担当部署	事業サービス課	

No.50	高額滞納者への対応	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>【下水道使用料・下水道事業受益者負担金】</li> <li>・財産調査、差押予告、財産差押の実施</li> <li>【水道料金・環境整備資金貸付金】</li> <li>・支払督促、強制執行申立の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【下水道使用料・下水道事業受益者負担金】</li> <li>・財産調査、差押予告、財産差押の実施</li> <li>【水道料金・環境整備資金貸付金】</li> <li>・支払督促、強制執行申立の実施</li> </ul>
担当部署	事業サービス課	

No.51	口座振替の推奨と新たな納付方法の調査・導入		<b>重点</b>
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口座振替の推奨（ダイレクトメールの送付等）</li> <li>・利用者が支払いやすい方法の調査研究</li> <li>・新たな納付方法の調査（他都市事例等）</li> <li>・クレジットカード払いの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口座振替の推奨（ダイレクトメールの送付等）</li> <li>・利用者が支払いやすい方法の調査研究</li> <li>・新たな納付方法の調査（他都市事例等）</li> </ul>	
担当部署	事業サービス課		

■指標計画

○水道料金現年度収納率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	98.74	98.75	98.76	98.77	98.78	98.79	98.80	98.83
変更計画	-	98.92	98.93	98.94	98.95	98.96	98.97	99.00
年度目標	-	98.92	99.23	99.37	99.38	99.39	-	-
実績	98.91	99.22	99.36	99.34	99.37	-	-	-

○下水道使用料現年度収納率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	98.76	98.77	98.78	98.79	98.80	-	-	-
変更計画	-	98.96	98.97	98.98	98.99	99.42	99.43	-
年度目標	-	98.96	99.23	99.40	99.41	99.42	-	-
実績	98.95	99.22	99.39	99.29	99.44	-	-	-

○水道料金調定年度5年経過収納率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	-	-	-	-	-	-	-	99.90
実績	99.81	99.78	99.77	99.81	99.84	-	-	-

※調定年度5年経過収納率は年度目標を置かず、現年度収納率の年度目標に取り組むことにより、5年経過収納率の向上を図る。

○下水道使用料調定年度5年経過収納率（％）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	-	-	-	-	-	-	99.90	-
実績	99.81	99.77	99.72	99.75	99.76	-	-	-

※調定年度5年経過収納率は年度目標を置かず、現年度収納率の年度目標に取り組むことにより、5年経過収納率の向上を図る。

## 事業 ⑦資本費平準化債の有効活用（下水道） [6.2]

### ■事業目標

- ・資本費平準化債を活用し、下水道事業に必要な資金を確保します。
- ・累積欠損金を早期に解消し、安定した経営基盤を構築するため、中長期的な収支見通しを策定の上、将来にわたる収支状況を把握します。また、必要資金の算出やさらなる経営改革を検討します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-




### ■業務計画

No.52	資本費平準化債の借入	
	前期	後期
	・収支見通しの更新（決算反映）	・収支見通しの更新（予算、決算見込反映） ・借入利率の把握と必要資金の算出
担当部署	経営戦略担当 事業サポート課	



## (5) 潤いと活力のあるまちの実現

潤いある水辺空間と活力あるまちを創出するため、下水再生水の有効活用として、堺浜および鉄砲町地区への再生水供給事業を効率的に運営します。

SDGs：ゴール	SDGs：ターゲット
 6 安全な水とトイレを世界中に	6.3
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7.2
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9.4

### 事業 ①再生水送水事業の継続（下水道）[6.3 7.2 9.4]

#### ■事業目標

- ・鉄砲町地区への再生水供給事業において、利用者との情報交換や意見交換を実施し、緊密な連携を図ることで事業を継続します。
- ・堺浜地区の再生水供給事業において、大口使用者が再生水の利用を廃止したことを受けて、令和3年度末での事業休止に向けて、利用者との協議を進めます。
- ・再生水の安定供給のため、水質管理と運転管理の両面から、効率的な運用を行います。

#### ■予算額（千円）



総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
45,984	0	8,000	0	37,984

#### ■業務計画

No.53	再生水の利活用	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生水の水質試験 水質基準の確認（2回/月） 内川への影響の確認（4回/年）</li> <li>・再生水利用者等との情報、意見の交換</li> <li>・堺浜地区の事業休止の準備</li> <li>・各種団体の視察対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生水の水質試験 水質基準の確認（2回/月） 内川への影響の確認（4回/年）</li> <li>・再生水利用者等との情報、意見の交換</li> <li>・堺浜地区の事業休止の準備</li> <li>・各種団体の視察対応</li> </ul>
担当部署	下水道事業調整課 三宝水再生センター	

## (6) 地球温暖化対策を推進するまちの実現（環境負荷の低減）

地球温暖化防止に貢献するため、再生可能エネルギーを利用した小水力発電や受水圧を利用した送水システム、下水処理施設の省エネ機器の導入、運転管理の工夫などにより、省エネを進めます。

SDGs：ゴール		SDGs：ターゲット	
		7.2	7.3
		9.4	

### 事業 ①受水圧を利用した送水システムの整備（水道） [7.3 9.4]

#### ■事業目標

- ・受水圧の利用による電力量の削減と安定給水の向上を目的として、河南連絡管の新分岐（令和3年度完成予定）との接続に向け、岩室高地配水池陶器山分岐場内整備工事の施工を進めます。

#### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
210,607	0	0	0	210,607

#### ■業務計画

No.54	陶器山分岐の設置	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶器山分岐場内整備工事の施工</li> <li>陶器山分岐場内配管工事</li> <li>陶器山分岐設備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶器山分岐場内整備工事の施工</li> <li>陶器山分岐場内配管工事</li> <li>陶器山分岐設備工事</li> </ul>
担当部署	水運用管理課	

### 事業 ②小水力発電設備の設置（水道） [7.2]

#### ■事業目標

- ・再生可能エネルギーの有効利用を目的とした桃山台配水場と陶器配水場内の小水力発電設備を運用し、環境負荷の低減に貢献します。

#### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

■指標計画

○小水力発電量（万 kWh）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
当初計画	70	70	70	140	140	140	140	140
当初計画	-	-	-	-	-	-	-	-
年度目標	70	70	70	140	140	140	-	-
実績	68 <sup>*1</sup>	78	94	112	69 <sup>*2</sup>	-	-	-

※ 桃山台配水場内小水力発電は平成 18 年度から運用を開始。陶器配水場内小水力発電は平成 30 年度から運用を開始。

※1 桃山台配水場の小水力発電設備をオーバーホールしたことにより、発電量が減少した。

※2 陶器配水場内発電設備の故障等により、発電量が減少した。

事業 ③省エネ・省 CO2 機器の導入（下水道） [7.3 9.4]

■事業目標

- ・設備の更新に併せた省エネ機器の導入として、石津水再生センターにおいて、制御性に優れた送風機やトッランナー変圧器、トッランナーモータ※などを導入します。

※「エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）」のトッランナー制度における、最高水準のエネルギー消費効率以上の省エネ性能を有する機器。

■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

■業務計画

No.55	施設更新に併せた省エネ機器の導入	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石津水再生センター</li> <li>2系送風機設備更新工事の発注</li> <li>高圧受変電設備更新工事の施工</li> <li>沈砂池設備更新工事の施工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石津水再生センター</li> <li>2系送風機設備更新工事の施工</li> <li>高圧受変電設備更新工事の施工</li> <li>沈砂池設備更新工事の施工</li> </ul>
担当部署	下水道施設課	

## 事業 ④水再生センターの運転管理の工夫（下水道） [7.3]

### ■事業目標

- ・ 泉北水再生センターと石津水再生センターにおいて、省エネ機器の導入による効果を確認します。また、コスト縮減策を継続して実施します。
- ・ 直営で運転する三宝水再生センターにおいて、処理水質を経済的かつ安定的に維持するため、水質の管理と運転管理の工夫を継続して実施します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
299,795	0	0	0	299,795

### ■業務計画

No.56	石津水再生センターにおける取組	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネルギー運転の継続</li> <li>・ 運転管理の改善点の探求</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネルギー運転の継続</li> <li>・ 運転管理の改善点の探求</li> </ul>
担当部署	三宝水再生センター	




No.57	泉北水再生センターにおける取組	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネルギー運転の継続</li> <li>・ 運転管理の改善点の探求</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネルギー運転の継続</li> <li>・ 運転管理の改善点の探求</li> </ul>
担当部署	三宝水再生センター	

再掲	処理の経済性と処理水質の安定化（三宝水再生センター）【No.21】	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネルギー運転の継続</li> <li>・ 運転管理の改善点の探求</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネルギー運転の継続</li> <li>・ 運転管理の改善点の探求</li> </ul>
担当部署	三宝水再生センター	

### 3. しんらいを築く堺の上下水道への挑戦

#### (1) お客さまとのパートナーシップの形成

利用者に事業への理解を深めていただき、限られた財源の中で優先度の高い事業を効果的に実施するため、広報・広聴や、公民の協働体制を拡充します。また、利用者へのサービスを向上させるため、利用者の声を迅速かつ円滑に事業運営へ反映し、業務の改善につなげます。

SDGs：ゴール			SDGs：ターゲット	
			6. b	
			16.6	16.7
			17.17	

#### 事業 ①双方向コミュニケーションの確立（水道・下水道） [6.b 16.6 16.7 17.17]

##### ■事業目標

- ・利用者へのサービスの向上や上下水道事業への理解と信頼を得るため、利用者の声を集約、分析のうえ、経営に反映すべき「利用者の声」を抽出し、業務の改善につなげます。また、経営に活かす仕組みを改善するほか、利用者の声に対する対応状況を見える化します。
- ・広聴体制を強化し、利用者の多様な意見を吸い上げるため、新たな広聴手法を検討します。また、電子申請等の推進を踏まえ、コールセンターの体制を見直します。

##### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
2,338	0	0	0	2,338

##### ■業務計画

No.58	広聴体制の強化（利用者の声に基づく業務改善）		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の声の集約、分析、見える化</li> <li>・市民アンケートの結果の共有、業務の見直し</li> <li>・新たな広聴手法の検討</li> <li>・コールセンター体制の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の声の集約、分析、見える化</li> <li>・市政モニターによる調査と検証</li> <li>・広聴体制の見直し</li> <li>・コールセンター体制（見直し後）の検証</li> </ul>	
担当部署	危機管理・広報広聴担当		

## 事業 ②お客さまとの協働体制の拡充（水道・下水道） [6.b 16.6 16.7 17.17]

### ■事業目標

- ・利用者に上下水道局の取組を確実に伝えるため、伝える情報と伝える相手に適した「利用者へ届く広報」を検討します。また、広報PT「みずとも」にて、新たな広報広聴を検討します。
- ・「ウィズコロナ」を踏まえ、上下水道事業への理解を深めてもらうためのイベントやセミナー、出前教室などの手法を見直します。また、費用対効果を踏まえて、効率的かつ効果的な広報を検討します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
11,431	0	0	0	11,431

### ■業務計画

No.59	新たな広報手法の検討（既存の手法の見直し）	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に訴求する広報手法の検討、実施</li> <li>・ウィズコロナを踏まえた広報手法の見直し</li> <li>・コスト縮減策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に訴求する広報手法の検討、実施、検証</li> <li>・ウィズコロナを踏まえた広報手法の実施</li> <li>・コスト縮減策を踏まえた広報手法の企画</li> </ul>
担当部署	危機管理・広報広聴担当	

## 事業 ③お客さま対応の向上と事業の啓発（水道・下水道） [17.17]

### ■事業目標

- ・委託業者とのパートナーシップを構築し、業務の効率化と技術力の向上を図りつつ、利用者へのサービスの向上を図ります。また、達成目標を設定した業務については、PDCA サイクルにより、業務の進捗管理の徹底と業務品質の向上を進めます。
- ・次期包括的民間委託（検針、料金徴収、コールセンター業務等）の契約に向けて、事業者へのヒアリング、契約方法や仕様等の検討を実施します。
- ・上下水道局本庁舎に来庁する利用者や事業者の利便性を向上するため、1階の執務室の配置を変更し、各種の窓口を一元化します。
- ・利用者の利便性の向上と対面機会の削減のため、受付窓口をオンライン化し、電子申請を推進します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
755,554	0	0	0	755,554

### ■業務計画




No.60	営業業務の業務品質の向上	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標設定業務の前年度総括評価、進捗管理</li> <li>・CS向上策の検討、実施</li> <li>・次期包括的民間委託の発注準備 事業者へのヒアリング 契約方法や仕様等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標設定業務の進捗管理、次年度目標の設定</li> <li>・次年度のCS向上策の検討</li> <li>・次期包括的民間委託の発注</li> </ul>
担当部署	事業サービス課	

No.61	利用者窓口の一元化（ワンストップサービスの向上）	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・局本庁舎本館1階の配置変更</li> <li>・局本庁舎東館窓口の移設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口の一元化の効果検証</li> </ul>
担当部署	事業サービス課 給排水設備課	

No.62	受付窓口（申請・申込等）のオンライン化		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他都市事例の調査</li> <li>・オンライン化の課題抽出、対応策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付窓口のオンライン化</li> </ul>	
担当部署	広域化・公民連携・ICT推進担当 各課		

## (2) 人材育成の充実・運営体制の強化

企業職員として求められる能力を高めるため、実践的な研修体系を構築し、危機管理研修や先進事例の視察、局内インターン、技術向上への取組等を実施します。また、持続的、安定的に事業を運営するため、機能的、効率的な組織・運営体制を構築します。

SDGs：ゴール			SDGs：ターゲット	
			5.5	
			8.2	8.5
			17.17	

### 事業 ①自ら考え行動する職員の育成（水道・下水道） [5.5 8.2]

#### ■事業目標

- ・組織力を強化するため、意識改革や戦略的な人事、コミュニケーション改革などを含む「(仮称)企業力向上方針」を策定します。
- ・創造性とチャレンジ精神をもった職員を育成するため、職階ごとに求められる能力の向上と職員の意欲的な取組を支援し、職員個々の資質や能力を向上させます。
- ・次世代を担う職員を継続的に育成し、技術力や組織力を強化するため、人材育成の制度や手法、効果を検証し、より効果的に実施できるように見直します。
- ・職員のスキルアップと組織力の向上のため、ナレッジマネジメントを推進します。
- ・事故や災害の発生時に、局管理職が適切な指揮をとり、局職員がそれぞれの役割を認識のうえ迅速、的確な対応をとれるよう、危機事象対応力の向上に資する研修を実施します。

#### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
15,952	0	0	0	15,952

#### ■業務計画

No.63	適正な人員配置（キャリアパス）の検討		重点
	前期	後期	
	・専門人材の育成に資する人員配置（キャリアパス）の検討	・専門人材の育成に資する人員配置（キャリアパス）の検討	
担当部署	事業サポート課 各部（室）		



No.64	技術力の強化		<b>重点</b>
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術職員の実践的な育成プログラムの構築</li> <li>・新規採用職員への技術研修の実施</li> <li>・資格取得支援制度の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術職員の実践的な育成プログラムの構築</li> <li>・新規採用職員への技術研修の実施</li> <li>・資格取得支援制度の検証</li> </ul>	
担当部署	事業サポート課 水道部 下水道管路部 下水道施設部		

No.65	組織力の強化	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織目標と人事評価を通じた目標管理の仕組づくり</li> <li>・組織力強化に向けた現状と課題の整理 意識改革、戦略的な人事、コミュニケーション改革、組織のポテンシャルを最大化する人材育成</li> <li>・「企業力向上方針」の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織目標と人事評価を通じた目標管理の仕組の運用</li> <li>・「企業力向上方針」の取組の整理（令和3年度実施分）</li> <li>・企業力向上の仕組づくり</li> </ul>
担当部署	経営戦略担当 事業サポート課 各部（室）	

No.66	ナレッジマネジメントの推進	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナレッジマネジメントの研修</li> <li>・共有する情報の抽出と整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナレッジマネジメントツールの検討</li> <li>・共有する情報の抽出と整理</li> <li>・情報の管理方法の検討</li> </ul>
担当部署	経営戦略担当 技術力強化担当 事業サポート課 広域化・公民連携・ICT推進担当 各部（室）	

No.67	危機管理研修の実施	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者、転局者の危機管理研修</li> <li>・管理職の危機管理研修</li> <li>・外部機関による研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部機関による研修</li> </ul>
担当部署	危機管理・広報広聴担当	

## 事業 ②機能的、効率的な組織体制の確保（水道・下水道） [8.2 8.5]

### ■事業目標

- ・新たな生活と仕事のスタイルを実現し、機能的、効率的な組織運営とするため、既存の制度や仕組みを見直します。また、組織を活性化するため、コミュニケーションが活発な風通しの良い、働きやすい職場環境をつくります。
- ・運営形態の最適化や ICT の導入、技術監理と技術力の強化を進めるため、組織体制を強化します。また、現行の組織体制を検証し、必要に応じて、次年度以降の組織体制を見直します。
- ・公民連携により事業の基盤を強化するため、令和 5 年度以降の公民連携の方向性の検討や新たな公民連携手法の導入の検討、モニタリング方針の作成などに取り組みます。
- ・受益者負担金の適正な賦課と効率的な事務執行に向けて、受益者負担金の賦課業務等において、下水道整備や供用開始の業務と連携を強化します。
- ・上下水道の高度な工事に要する技術力を維持するため、新たな仕組みを構築します。また、設計積算に係る業務を合理化します。

### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
19,500	0	0	0	19,500

### ■業務計画

No.68	新たな生活と仕事のスタイルの実現		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性の向上、長時間労働の是正 仕事の進め方の標準化 スケジュールの共有、見える化 テレワークの運用、検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性の向上、長時間労働の是正 仕事の進め方の標準化 スケジュールの共有、見える化 テレワークの運用、検証</li> </ul>	
担当部署	事業サポート課 各部（室）		

No.69	執務環境の改善（フリーアドレスの導入）		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーアドレスの導入（局本庁舎本館 1 階）</li> </ul>		
担当部署	事業サービス課 給排水設備課		

No.70	公民連携の推進	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の委託業務の今後の方向性の検討</li> <li>・新たな公民連携手法の導入の検討</li> <li>・モニタリング方針の作成</li> <li>・導入プロセスの標準化</li> <li>・他都市事例の調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の委託業務の今後の方向性の検討</li> <li>・新たな公民連携手法の導入の検討</li> <li>・モニタリング方針の作成</li> <li>・導入プロセスの標準化</li> <li>・他都市事例の調査</li> </ul>
担当部署	広域化・公民連携・ICT 推進担当	

No.71	下水道整備と受益者負担金の連携強化	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道整備から受益者負担金賦課に至る業務フローの整理</li> <li>・負担金賦課に係る手続き等のワンストップ化の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道整備から受益者負担金賦課に至る業務フローの改善</li> <li>・負担金賦課に係る手続き等のワンストップ化の検討</li> </ul>
担当部署	給排水設備課 事業サービス課 下水道管路課 下水道建設課	

No.72	高度な工事に係る技術力の維持	<b>重点</b>
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築更新に係るノウハウの蓄積</li> <li>・水道と下水道の技術連携</li> <li>・設計積算の合理化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築更新に係るノウハウの蓄積</li> <li>・水道と下水道の技術連携</li> <li>・設計積算の合理化</li> </ul>
担当部署	技術力強化担当 水道部 下水道管路部 下水道施設部	

### 事業 ③広域連携の推進（水道） [17.17]

#### ■事業目標

- ・「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」※に参画し、府域一水道や広域化、水道基盤強化計画の策定等の検討に、積極的に関与します。

※府域一水道に向け、大阪府が設置した協議会（通称「あり方協議会」）。大阪府と大阪府内の全水道事業体で構成されている。

- ・水道の基盤強化に向けた大阪市や大阪広域水道企業団などとの連携協定に基づき、連携を推進します。また、周辺市との関係や情報共有を強化するため、引き続き、水平連携事業を実施します。
- ・大阪市との水道事業に係る包括連携協定に基づき、「利用者へのサービスの向上」や「水道基幹管路の更新の促進」、「ICT等を活用した基盤強化」などでの連携を推進します。
- ・災害や事故発生時における相互の対応力を強化するため、災害協定を締結した近隣市と合同訓練を実施します。また、訓練結果を検証し、必要に応じてマニュアル等を見直します。

#### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
-	-	-	-	-

#### ■業務計画




No.73	府域一水道に向けた協議・大阪市との連携		重点
	前期	後期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あり方協議会」への参画</li> <li>・「大阪市・大阪広域水道企業団・堺市」の3者による連携事項の具体化の検討</li> <li>・大阪市との連携事項の具体化の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あり方協議会」への参画</li> <li>・「大阪市・大阪広域水道企業団・堺市」の3者による連携事項の具体化の検討</li> <li>・大阪市との連携事項の具体化の検討</li> </ul>	
担当部署	広域化・公民連携・ICT推進担当 サービス推進部 水道部		

No.74	周辺市との水平連携事業の実施	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度実施事業の効果検証</li> <li>・水平連携事業の計画策定</li> <li>・水平連携事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水平連携事業の総括、次年度の調整</li> <li>・水平連携事業の実施</li> </ul>
担当部署	広域化・公民連携・ICT推進担当 サービス推進部 水道部	

No.75	緊急連絡管に係る合同訓練の実施	
	前期	後期
	・ 近隣市（大阪市等）との協議	・ 合同訓練の実施 ・ 訓練結果の検証、マニュアル等の見直し
担当部署	水道部	

### (3) 先進的な取組への挑戦

本市の上下水道事業を進化させ、業務の最適化と効率化を進めるため、先進的な取組を推進します。また、成果を積極的に外部へ発信します。

SDGs：ゴール	SDGs：ターゲット
  	6.a 8.2 17.16 17.17

#### 事業 ①先進的な取組の推進（水道・下水道）[6.a 8.2 17.16 17.17]

##### ■事業目標

- ・利用者へのサービスの向上や業務の効率化のため、ICT 活用タスクフォースを組織し、「局 ICT 推進アクションプラン」に基づき進捗を管理し、適宜更新することで、局内業務のシステム化を推進します。
- ・水道 ICT 情報連絡会での提案や局内ワーキンググループでの検討などを踏まえ、効果的に ICT の導入を進めます。
- ・利用者の利便性の向上のため、水道窓口クラウドサービスの機能の拡大に取り組みます。また、利用者に対する使用水量の見える化や、検針業務の効率化、高度な水運用の実現のため、スマートメーターの導入に向けた取組を進めます。
- ・民間事業者が上下水道局（本庁舎）に来庁しなくても済むようにするため、給水装置等の水道管路情報をオンラインで閲覧できるようにします。
- ・災害時情報管理システムを地図情報と連動させ、避難所に設置される災害時給水栓や給水コンテナ、マンホールトイレの設置状況を局ホームページで分かりやすく発信します。
- ・下水道施設の管理をより効率化するため、アセットマネジメントシステム（※）を導入します。

※施設の資産情報に加え、点検・調査結果や修繕履歴などの維持管理情報、および完成図書などの情報を一元管理し、施設ストックの評価や改築更新計画の自動作成を可能とするシステム。

- ・膜分離活性汚泥法（MBR）施設の運転管理に係る技術的知見を蓄積し、大学等との共同研究や論文発表、施設見学会などを通じて、技術的知見を発信します。また、引き続き、高度処理水の活用方法を検討します。
- ・SDGs 未来都市として国際貢献に協力し、開発途上国の発展に寄与するため、JICA 関西及び関西 4 都市（大阪市、京都市、神戸市、奈良市）と連携し、JICA 研修員を受け入れます。

##### ■予算額（千円）

総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
71,358	0	0	0	71,358

■業務計画

No.76	ICT 導入の推進（情報収集、実証実験等）	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道 ICT 情報連絡会での提案受付、審査</li> <li>新技術の実証実験の実施、検証</li> <li>ICT 導入の具体化の検討</li> <li>ICT 等に関する情報の局内共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道 ICT 情報連絡会での提案受付、審査</li> <li>新技術の実証実験の実施、検証</li> <li>ICT 導入の具体化の検討</li> <li>ICT 等に関する情報の局内共有</li> </ul>
担当部署	広域化・公民連携・ICT 推進担当 サービス推進部 水道部 下水道管路部 下水道施設部	

No.77	水道窓口クラウドサービスの機能拡大 <span style="float: right; background-color: red; color: white; padding: 2px;">重点</span>	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道窓口クラウドサービスの機能拡大</li> <li>水道の使用開始、休止受付など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道窓口クラウドサービスの機能拡大</li> <li>水道の名義変更受付など</li> </ul>
担当部署	事業サービス課	

No.78	スマートメーターの導入 <span style="float: right; background-color: red; color: white; padding: 2px;">重点</span>	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートメーターの事例調査</li> <li>実証実験の実施（令和 2 年度の延長）</li> <li>長期的な視点での効果検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートメーターの事例調査</li> <li>実証実験の実施（令和 2 年度の延長）</li> <li>長期的な視点での効果検証</li> </ul>
担当部署	事業サービス課	

No.79	オンライン閲覧機能の構築（水道管路情報・災害時の避難所情報）	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道管路情報のオンライン閲覧システムの導入準備（仕様書の作成等）</li> <li>災害時情報管理システムの改修（地図情報との連動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道管路情報のオンライン閲覧システムの導入（利用者登録の準備、運用方法の検討等）</li> <li>災害時情報管理システムの運用（地図情報との連動）</li> </ul>
担当部署	給排水設備課 危機管理・広報広聴担当	

No.80	下水道施設のアセットマネジメントシステムの導入	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセットマネジメントシステムの発注</li> <li>発注資料（仕様書等）の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセットマネジメントシステムの構築</li> <li>受注者及び関係部署との協議</li> </ul>
担当部署	下水道施設課 三宝水再生センター	

No.81	膜分離活性汚泥法（MBR）に係る技術的知見の蓄積と発信	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他都市等を対象とした現場見学会の実施</li> <li>・効率的な運転に向けた委託業者との連携</li> <li>・MBR 運転の知見の蓄積と外部への発信</li> <li>・MBR 処理水の活用方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他都市等を対象とした現場見学会の実施</li> <li>・効率的な運転に向けた委託業者との連携</li> <li>・MBR 運転の知見の蓄積と外部への発信</li> <li>・MBR 処理水の活用方法の検討</li> </ul>
担当部署	三宝水再生センター 下水道施設課 下水道事業調整課	

No.82	JICA 研修員の受け入れ	
	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JICA 研修員の受け入れ、技術研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度の研修内容の協議 (大阪市、大阪水道総合サービス等)</li> </ul>
担当部署	広域化・公民連携・ICT 推進担当 サービス推進部 水道部 下水道施設部	



### III. 働く環境の改革

#### ■経営方針

感染防止と社会活動が両立する経営手法を「新型コロナウイルスと共存する上下水道局の経営戦略（コロナ戦略）」として打ち出し、働く環境の改革により、積極的に新たな生活と仕事のスタイルを創る。

#### ■基本方針

働く環境の改革にあたっては、「ICT推進」「働き方改革」「危機管理体制の強化」「オフィス改革」に重点的に取り組むことで、いかなる状況でも事業を継続することを目標とする。

#### ■取組方針

上記の基本方針を実現するうえで、“一人ひとりの仕事の仕方を変える”必要があるため、「ルール」と「ICTツール」を変える。

#### ■取組の方向性

「vision and work hard (目的をはっきり持って、それに向かって懸命に働く!!)」の考えのもと、働く環境の改革として、以下の取組を進める。

##### (1) ルールを変える

- ①「仕事のルール」を定めて運用します（PDCAサイクルによるマネジメント）。
  - ・組織目標の管理と、職員一人ひとりの目標（人事評価制度）を連動させる。
  - ・1日の行動・目標・結果・評価を組織的に進め、職員の意識改革も含めて「仕事の見える化」を推進する（タイムマネジメントの導入）。
  - ・働く場所の改革を推進する。
- ②ICT化・オンライン化を進めます。
  - ・窓口の一元化・クローズ化を図るため、窓口手続きのオンライン化を推進する。
- ③働きやすい職場環境に向け、事務規程や人事規程等を見直す。
  - ・デジタル化に伴う制度を見直す（書面、押印、対面等）。
  - ・時差出勤やテレワーク等に対応するため、制度を見直す。
  - ・業務の改善を推進する。

##### (2) ICTツールを変える

- ①情報システムの標準化・共通化、クラウドの活用を促進する。
- ②行政手続きのオンライン化を推進する。
- ③情報共有、情報格差の平準化を推進する。
- ④災害情報システムの機能を強化する。

## IV. 投資財政計画

### 水道事業の投資財政計画

(単位：億円)

項目		R2 年度 決 算	R3 年度 予 算	R4 年度 計 画	R5 年度 計 画	R6 年度 計 画	R7 年度 計 画
収 益 的 収 支	水道料金	144	151	-	-	-	-
	その他収入	32	24	-	-	-	-
	収益的収入合計 (A)	175	175	-	-	-	-
	維持管理費	116	125	-	-	-	-
	(うち人件費)	16	17	-	-	-	-
	(うち受水費)	72	75	-	-	-	-
	資本費	44	46	-	-	-	-
	(うち支払利息)	4	5	-	-	-	-
	(うち減価償却費等)	40	42	-	-	-	-
	収益的支出合計 (B)	160	171	-	-	-	-
収益的収支差引 (C=A-B)	15	5	-	-	-	-	
資 本 的 収 支	企業債	31	45	-	-	-	-
	その他収入	7	6	-	-	-	-
	資本的収入合計 (D)	38	51	-	-	-	-
	建設改良費	77	92	-	-	-	-
	企業債償還金	14	16	-	-	-	-
	資本的支出合計 (E)	91	107	-	-	-	-
資本的収支差引 (F=D-E)	△53	△56	-	-	-	-	
内部留保資金 (G)	34	37	-	-	-	-	
単年度資金収支 (H=C+F+G)	△4	△14	-	-	-	-	
累積資金 (引当金含む)	76	60	-	-	-	-	
企業債残高	350	379	-	-	-	-	

※各金額は税込額。

※各金額は単位未満を四捨五入し、端数調整は行っていません。

※上記数値は決算を反映した数値を記載しております。予算欄には繰越額が含まれています。

※令和4年度以降の計画は、アセットマネジメント計画を策定中であるため、掲載していません。

## ビジョン策定時からの変更点

### ■前提条件

--

※この単年度実施計画には、次年度以降の投資財政計画を掲載していないことから、「ビジョン策定時からの変更点」を記載していません。令和5年度以降の「新たなビジョン」に基づく単年度実施計画から記載する予定です。

## 下水道事業の投資財政計画

(単位：億円)

項目		R2 年度 決 算	R3 年度 予 算	R4 年度 計 画	R5 年度 計 画	R6 年度 計 画	R7 年度 計 画
収 益 的 収 支	下水道使用料	159	157	-	-	-	-
	その他収入	135	137	-	-	-	-
	収益的収入合計 (A)	294	294	-	-	-	-
	維持管理費	87	95	-	-	-	-
	(うち人件費)	17	17	-	-	-	-
	(うち維持管理費等)	69	78	-	-	-	-
	資本費	189	190	-	-	-	-
	(うち支払利息)	39	36	-	-	-	-
	(うち減価償却費等)	151	154	-	-	-	-
	収益的支出合計 (B)	277	285	-	-	-	-
収益的収支差引 (C=A-B)	17	9	-	-	-	-	
資 本 的 収 支	企業債	117	194	-	-	-	-
	その他収入	38	82	-	-	-	-
	資本的収入合計 (D)	156	276	-	-	-	-
	建設改良費	101	225	-	-	-	-
	企業債償還金	168	175	-	-	-	-
	資本的支出合計 (E)	270	401	-	-	-	-
資本的収支差引 (F=D-E)	△114	△125	-	-	-	-	
内部留保資金 (G)	98	108	-	-	-	-	
単年度資金収支 (H=C+F+G)	2	△5	-	-	-	-	
累積資金(引当金含む)	65	60	-	-	-	-	
企業債残高	2,417	2,435	-	-	-	-	

※うち一般会計繰入金

収益的収支 (収益的収支その他収入に含む)	73	75	-	-	-	-
資本的収支 (資本的収支その他収入に含む)	5	5	-	-	-	-

※各金額は税込額。

※各金額は単位未満を四捨五入し、端数調整は行っていません。

※上記数値は決算を反映した数値を記載しております。予算欄には繰越額が含まれています。

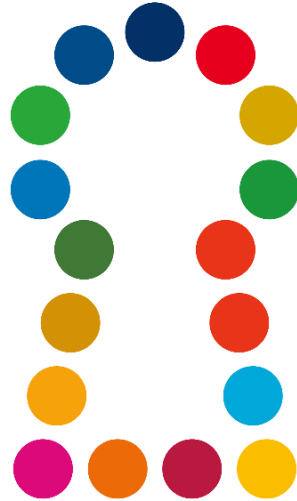
※令和4年度以降の計画は、アセットマネジメント計画を策定中であるため、掲載していません。

## ビジョン策定時からの変更点

### ■前提条件

--

※この単年度実施計画には、次年度以降の投資財政計画を掲載していないことから、「ビジョン策定時からの変更点」を記載していません。令和5年度以降の「新たなビジョン」に基づく単年度実施計画から記載する予定です。



# SDGs未来都市・堺

Sustainable Development Goals Future City, SAKAI CITY

上下水道事業 単年度実施計画（令和3年度版）

令和3年 3月 発行

令和3年10月 改定（令和2年度の実績を反映）

堺市 上下水道局 経営企画室 経営戦略担当

〒591-8505

堺市北区百舌鳥梅北町1丁39番地2

T E L : 072-250-9227

F A X : 072-250-6600

